

8. 出来形管理基準及び規格値

出来形管理基準及び規格値 目次

【第1編 共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 土工						
第3節 河川土工・ 海岸土工・ 砂防土工	2-3-2		掘削工			1
	2-3-3		盛土工			1
	2-3-4		盛土補強工	補強土(テールアル メ)壁工法 多数アンカー式補 強土工法 ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		1
				盛土部		1
		2-3-5		法面整形工		2
	2-3-6		堤防天端工			2
第4節 道路土工	2-4-2		掘削工			2
	2-4-3		路体盛土工			3
	2-4-4		路床盛土工			3
	2-4-5		法面整形工	盛土部		3
第3章 無筋、鉄筋コンクリート						
第7節 鉄筋工	3-7-4		組立て			3

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 一般施工						
第3節 共通の工種	2-3-4		矢板工(指定仮設・ 任意仮設は除く)	鋼矢板		4
				軽量鋼矢板		4
				コンクリート矢板		4
				広幅鋼矢板		4
				可とう鋼矢板		4
	2-3-5		縁石工	縁石・アスカープ		4
	2-3-6		小型標識工			4
	2-3-7		防止柵工	立入防止柵		5
				転落(横断)防止柵		5
				車止めポスト		5
	2-3-8	1	路側防護柵工	ガードレール		5
		2	路側防護柵工	ガードケーブル		5
	2-3-9		区画線工			6
	2-3-10		道路付属物工	視線誘導標		6
				距離標		6
	2-3-11		コンクリート面塗装工			6
	2-3-12	1	プレテンション桁製作工 (購入工)	けた橋		7
		2	プレテンション桁製作工 (購入工)	スラブ桁		7
2-3-13	1	ポストテンション桁製作工			7	
	2	プレキャストセグメント桁製 作工(購入工)			8	
2-3-14		プレキャストセグメント主桁 組立工			8	
2-3-15		PCホロースラブ製作工			8	
2-3-16	1	PC箱桁製作工			9	
	2	PC押出し箱桁製作工			9	
2-3-17		根固めブロック工			9	
2-3-18		沈床工			10	

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第3節 共通の工種	2-3-19		捨石工			10	
	2-3-22		階段工			10	
	2-3-24	1	伸縮装置工	ゴムジョイント			10
		2	伸縮装置工	鋼製フィンガージョイント			11
	2-3-26	1	多自然型護岸工	巨石張り、巨石積み			11
		2	多自然型護岸工	かごマット			11
	2-3-27	1	羽口工	じゃかご			12
		2	羽口工	ふとんかご、かご枠			12
	2-3-28		プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工			12
				プレキャストパイプ工			12
	2-3-29	1	側溝工	プレキャストU型側溝工			13
				L型側溝工			13
				自由勾配側溝管渠			13
		2	側溝工	場所打水路工			13
3		側溝工	暗渠工			13	
2-3-30		集水柵工				14	
2-3-31		現場塗装工				14	
第4節 基礎工	2-4-1		一般事項	切込砂利		15	
				砕石基礎工		15	
				割ぐり石基礎工		15	
				均しコンクリート		15	
	2-4-3	1	基礎工(護岸)	現場打			15
		2	基礎工(護岸)	プレキャスト			16
	2-4-4	1	既製杭工	既製コンクリート杭			16
				鋼管杭			16
		2	既製杭工	H鋼杭			16
				鋼管ソイルセメント杭			16
2-4-5		場所打杭工				16	
2-4-6		深礎工				17	
2-4-7		オープンケーソン基礎工				17	
2-4-8		ニューマチックケーソン基礎工				17	
2-4-9		鋼管矢板基礎工				18	
第5節 石・ブロック積(張)工	2-5-3	1	コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		18	
				コンクリートブロック張り			18
				連節ブロック張り			18
		3	コンクリートブロック工	天端保護ブロック			19
	2-5-4		緑化ブロック工				19
2-5-5		石積(張)工				19	
第6節 一般舗装工	2-6-7	1	アスファルト舗装工	下層路盤工		20	
		2	アスファルト舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)			20
		3	アスファルト舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)			21
		4	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工			21
		5	アスファルト舗装工	基層工			22
		6	アスファルト舗装工	表層工			22

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	2-6-8	1	半たわみ性舗装工	下層路盤工		23
		2	半たわみ性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		23
		3	半たわみ性舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		24
		4	半たわみ性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		24
		5	半たわみ性舗装工	基層工		24
		6	半たわみ性舗装工	表層工		24
	2-6-9	1	排水性舗装工	下層路盤工		25
		2	排水性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		25
		3	排水性舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		25
		4	排水性舗装工	加熱アスファルト安定処理工		26
		5	排水性舗装工	基層工		26
		6	排水性舗装工	表層工		26
	2-6-10	1	透水性舗装工	路盤工		27
		2	透水性舗装工	表層工		27
	2-6-11	1	ゲースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		28
		2	ゲースアスファルト舗装工	基層工		28
		3	ゲースアスファルト舗装工	表層工		28
	2-6-12	1	コンクリート舗装工	下層路盤工		29
		2	コンクリート舗装工	粒度調整路盤工		29
		3	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青)安定処理工		30
		4	コンクリート舗装工	アスファルト中間層		30
		5	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工		31
		6	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(下層路盤工)		31
		7	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(粒度調整路盤工)		31
		8	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(セメント(石灰・瀝青)安定処理工)		32
		9	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工(アスファルト中間層)		32
		10	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工		32
	2-6-13	1	薄層カラー舗装工	下層路盤工		33
		2	薄層カラー舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		33
		3	薄層カラー舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		34
		4	薄層カラー舗装工	加熱アスファルト安定処理工		34
		5	薄層カラー舗装工	基層工		34

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 一般舗装工	2-6-14	1	ブロック舗装工	下層路盤工		35
		2	ブロック舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤工)		35
		3	ブロック舗装工	上層路盤工(セメント(石灰)安定処理工)		36
		4	ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		36
		5	ブロック舗装工	基層工		36
	2-6-15		路面切削工			37
	2-6-16		舗装打換え工			37
	2-6-17		オーバーレイ工			37
第7節 地盤改良工	2-7-2		路床安定処理工			38
	2-7-3		置換工			38
	2-7-4		表層安定処理工	サンドマット海上		39
	2-7-5		パイルネット工			39
	2-7-6		サンドマット工			39
	2-7-7		パーチカルドレーン工	サンドドレーン工		40
				ペーパードレーン工		40
				袋詰式サンドドレーン工		40
	2-7-8		締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		40
2-7-9		固結工	粉体噴射攪拌工		40	
			高圧噴射攪拌工		40	
			スラリー攪拌工		40	
			生石灰パイル工		40	
第10節 仮設工	2-10-5	1	土留・仮締切工	H鋼杭		41
				鋼矢板		41
		2	土留・仮締切工	アンカー工		41
		3	土留・仮締切工	連節ブロック張り工		41
		4	土留・仮締切工	締切盛土		42
	5	土留・仮締切工	中詰盛土		42	
	2-10-9		地中連続壁工(壁式)			43
2-10-10		地中連続壁工(柱列式)			43	
	2-10-22		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
第11節 軽量盛土工	2-11-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第12節 工場製作工 (共通)	2-12-1	1	casting fee	(金属支承工)		44
		2	casting fee	(大型ゴム支承工)		45
		3	仮設材製作工			46
		4	刃口金物製作工			46
	2-12-3	1	桁製作工	仮組検査を実施する場合 シミュレーション仮組検査を実施する場合		47
		2	桁製作工	仮組検査を実施しない場合		49
		3	桁製作工	鋼製透過型堰堤, 鋼製流木補足工製作工(仮組立時)		50
		2-12-4		検査路製作工		51
		2-12-5		鋼製伸縮継手製作工		51
		2-12-6		落橋防止装置製作工		51

【第3編 土木工事共通編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁				
第12節 工場製作工 (共通)	2-12-7		橋梁用防護柵製作工			51				
	2-12-8		アンカーフレーム製 作工			52				
	2-12-9		プレビーム用桁製作			52				
	2-12-10		鋼製排水管製作工			53				
	2-12-11		工場塗装工			53				
第13節 橋梁架設工	2-13		架設工(鋼橋)	クレーン架設		54				
				ケーブルクレーン架 設		54				
				ケーブルエレクショ ン架設		54				
				架設桁架設		54				
				送出し架設		54				
				トラベラークレーン 架設		54				
		架設工(コンクリー ト橋)	クレーン架設		55					
			架設桁架設		55					
			架設工支保工	固定	55					
			架設工支保工	移動	55					
架設桁架設	片持架設		55							
	押出し架設		55							
第14節 法面工(共通)	2-14-2	1	植生工	種子散布工		55				
				張芝工		55				
				筋芝工		55				
				市松芝工		55				
				植生シート工		55				
				植生マット工		55				
				植生筋工		55				
				人工張芝工		55				
				植生穴工		55				
				2	植生工	植生基材吹付工		55		
		客土吹付工				55				
		2-14-3		吹付工(仮設を含む)	コンクリート		56			
					モルタル		56			
		2-14-4	1	法枠工	現場打法枠工		57			
					現場吹付法枠工		57			
2-14-6		アンカー工	プレキャスト法枠工		57					
					57					
第15節 擁壁工(共通)	2-15-1		場所打擁壁工			58				
				2-15-2	プレキャスト擁壁工			58		
						2-15-3	補強土壁工	補強土(テールアル メ)壁工法		59
								多数アンカー式補 強土工法		59
					ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		59			
2-15-4		井桁ブロック工		59						
第16節 浚渫工(共通)	2-16-3	1	浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		60				
		2	浚渫船運転工	クラブ浚渫船		60				
第18節 床版工	2-18-2		床版工			61				

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第1章 築堤・護岸							
第3節 計量盛土工	1-3-1		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3	
第4節 地盤改良工	1-4-2		表層安定処理工		第3編2-7-4表層安定処理工	39	
	1-4-3		パイルネット工		第3編2-7-5パイルネット工	39	
	1-4-4		バーチカルドレーン工		第3編2-7-7バーチカルドレーン工	40	
	1-4-5		締固め改良工		第3編2-7-8締固め改良工	40	
	1-4-6		固結工		第3編2-7-9固結工	40	
第5節 護岸基礎工	1-5-3		基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15	
	1-5-4		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
第6節 矢板護岸工	1-6-3		笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15	
	1-6-4		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
第7節 法覆護岸工	1-7-3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18	
	1-7-4		護岸付属物工			62	
	1-7-5		緑化ブロック工		第3編2-5-4緑化ブロック工	19	
	1-7-6		環境護岸ブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18	
	1-7-7		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19	
	1-7-8		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57	
	1-7-9		多自然型護岸工	巨石張り		第3編2-3-26多自然型護岸工	11
				巨石積み		第3編2-3-26多自然型護岸工	11
				かごマット		第3編2-3-26多自然型護岸工	11
	1-7-11		吹付工		第3編2-14-3吹付工	56	
	1-7-11		植生工		第3編2-14-2植生工	55	
	1-7-12		覆土工		第1編2-3-5法面整形工	2	
	1-7-13		羽口工	じゃかご		第3編2-3-27羽口工	12
ふとんかご					第3編2-3-27羽口工	12	
かご枠					第3編2-3-27羽口工	12	
連節ブロック張り					第3編2-5-3-2連節ブロック張り	18	
第8節 擁壁護岸	1-8-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58	
	1-8-4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工	58	
第9節 根固め工	1-9-3		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック	9	
	1-9-5		沈床工		第3編2-3-18沈床工	10	
	1-9-6		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10	
	1-9-9		かご工	じゃかご		第3編2-3-27羽口工	12
				ふとんかご		第3編2-3-27羽口工	12
第10節 水制工	1-10-3		沈床工		第3編2-3-18沈床工	10	
	1-10-4		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10	
	1-10-5		かご工	じゃかご		第3編2-3-27羽口工	12
				ふとんかご		第3編2-3-27羽口工	12
	1-10-8		杭出し水制工			62	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第11節 付帯道路工	1-11-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5	
	1-11-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20	
	1-11-6		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	29	
	1-11-7		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33	
	1-11-8		ブロック舗装工		第3編2-6-14ブロック舗装工	35	
	1-11-9		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13	
	1-11-10		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14	
	1-11-11		縁石工		第3編2-3-5縁石工	4	
	1-11-12		区画線工		第3編2-3-9区画線工	6	
第12節 付帯道路施設工	1-12-3		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	6	
	1-12-4		標識工		第3編2-3-6小型標識工	4	
第13節 光ケーブル配管工	1-13-3		配管工			62	
	1-13-4		ハンドホール工			63	
第2章 浚渫(川)							
第2節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	2-2-2		浚渫船運転工(民船・官船)		第3編2-16-3浚渫船運転工	60	
第3節 浚渫工(グラブ浚渫船)	2-3-2		浚渫船運転工		第3編2-16-3浚渫船運転工	60	
第4節 浚渫工(バックホウ浚渫船)	2-4-2		浚渫船運転工		第3編2-16-3浚渫船運転工	60	
第3章 樋門・樋管							
第3節 軽量盛土工	3-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3	
第4節 地盤改良工	3-4-2		固結工		第3編2-7-9固結工	40	
第5節 樋門・樋管本體工	3-5-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16	
	3-5-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16	
	3-5-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
	3-5-6	1	函渠工	本體工			63
		2	函渠工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12	
	3-5-7		翼壁工			64	
	3-5-8		水叩工			64	
	第6節 護床工	3-6-3		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック	9
3-6-5			沈床工		第3編2-3-18沈床工	10	
3-6-6			捨石工		第3編2-3-19捨石工	10	
3-6-7			かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	12	
				第3編2-3-27羽口工	12		
第7節 水路工	3-7-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13	
	3-7-4		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14	
	3-7-5		暗渠工		第3編2-3-29暗渠工	13	
	3-7-6		樋門接続暗渠工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12	
第8節 付属物設置工	3-8-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5	
	3-8-7		階段工		第3編2-3-22階段工	10	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第4章 水門							
第3節 工場製作工	4-3-3		桁製作工		第3編2-12-3桁製作工	47	
	4-3-4		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製作工	51	
	4-3-5		落橋防止装置製作工		第3編2-12-6落橋防止装置製作工	51	
	4-3-6		鋼製排水管製作工		第3編2-12-10鋼製排水管製作工	53	
	4-3-7		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製作工	51	
	4-3-9		仮設材製作工		第3編3-12-1仮設材製作工	46	
	4-3-10		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53	
第5節 軽量盛土工	4-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3	
第6節 水門本体工	4-6-4		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16	
	4-6-5		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16	
	4-6-6		矢板工(遮水矢板)		第3編2-3-4矢板工	4	
	4-6-7		床版工			64	
	4-6-8		堰柱工			64	
	4-6-9		門柱工			64	
	4-6-10		ゲート操作台工			64	
	4-6-11		胸壁工			64	
	4-6-12		翼壁工		第6編3-5-7翼壁工	64	
	4-6-13		水叩工		第6編3-5-8水叩工	64	
	第7節 護床工	4-7-3		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック工	9
		4-7-5		沈床工		第3編2-3-18沈床工	10
		4-7-6		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10
4-7-7			かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工 第3編2-3-27羽口工	12 12	
第8節 付属物設置工	4-8-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5	
	4-8-8		階段工		第3編2-3-22階段工	10	
第9節 鋼管理橋上部工	4-9-4		架設工(クレーン架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	53	
	4-9-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	53	
	4-9-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	54	
	4-9-7		架設工(架設桁架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	54	
	4-9-8		架設工(送出し架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	54	
	4-9-9		架設工(トラベラークレーン架設)		第3編2-13 架設工(鋼橋)	54	
	4-9-10		支承工		第10編4-5-10支承工	96	
第10節 橋梁現場塗装工	4-10-2		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14	
第11節 床版工	4-11-2		床版工		第3編2-18-2床版工	61	
第12節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	4-12-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10	
	4-12-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97	
	4-12-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97	
	4-12-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97	
	4-12-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97	
第14節 コンクリート管 理橋上部工(PC橋)	4-14-2		プレテンション桁製作工(購入工)		第3編2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	7	
	4-14-3		ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13ポストテンション桁製作工	7	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第14節 コンクリート管 理橋上部工(P C橋)	4-14-4		プレキャストセグメント 桁製作工(購入工)		第3編2-3-13プレキャストセグメ ント桁製作工(購入工)	8	
	4-14-5		プレキャストセグメント 主桁組立工		第3編2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工	8	
	4-14-6		支承工		第10編4-5-10支承工	96	
	4-14-7		架設工(クレーン架設)		2-13 架設工(コンクリート橋)	55	
	4-14-8		架設工(架設桁架設)		2-13 架設工(コンクリート橋)	55	
	4-14-9		床版・横組工		第3編2-18-2床版工	61	
	4-14-10		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置	97	
第15節 コンクリート管 理橋上部工(P Cホロースラブ 橋)	4-15-2		支承工		第10編4-5-10支承工	96	
	4-15-4		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97	
	4-15-5		PCホロースラブ製作 工		第3編2-3-15PCホロースラブ 製作工	8	
第16節 橋梁付属物工 (コンクリート管 理橋)	4-16-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10	
	4-16-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97	
	4-16-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97	
	4-16-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97	
	4-16-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97	
第18節 舗装工	4-18-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20	
	4-18-6		半たわみ性舗装工		第3編2-6-8半たわみ性舗装工	23	
	4-18-7		排水性舗装工		第3編2-6-9排水性舗装工	25	
	4-18-8		透水性舗装工		第3編2-6-10透水性舗装工	27	
	4-18-9		グースアスファルト舗 装工		第3編2-6-11グースアスファル ト舗装工	28	
	4-18-10		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装	29	
	4-18-11		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33	
	4-18-12		ブロック舗装工		第3編2-6-14ブロック舗装工	35	
第5章 堰							
第3節 工場製作工	5-3-3		刃口金物製作工		第3編2-12-1刃口金物製作工	46	
	5-3-4		桁製作工		第3編2-12-3桁製作工	47	
	5-3-5		検査路製作工		第3編2-12-4検査路製作工	51	
	5-3-6		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製 作工	51	
	5-3-7		落橋防止装置製作工		第3編2-12-6落橋防止装置製 作工	51	
	5-3-8		鋼製排水管製作工		第3編2-12-10鋼製排水管製作 工	53	
	5-3-9		プレビーム用桁製作 工		第3編2-12-9プレビーム用桁製 作工	53	
	5-3-12		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製 作工	51	
	5-3-12		アンカーフレーム製作 工		第3編2-12-8アンカーフレーム 製作工	52	
	5-3-13		仮設材製作工		第3編2-12-1仮設材製作工	46	
	5-3-14		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53	
	第5節 計量盛土工	5-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第6節 可動堰本体工	5-6-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16	
	5-6-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16	
	5-6-5		オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	17	
	5-6-6		ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	17	
	5-6-7		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
	5-6-8		床版工		第6編4-6-7床版工	64	
	5-6-9		堰柱工		第6編4-6-8堰柱工	64	
	5-6-10		門柱工		第6編4-6-9門柱工	64	
	5-6-11		ゲート操作台工		第6編4-6-10ゲート操作台工	64	
	5-6-12		水叩工		第6編3-5-8水叩工	64	
	5-6-13		閘門工			64	
	5-6-14		土砂吐工			64	
	5-6-15		取付擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58	
	第7節 固定堰本体工	5-7-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
		5-7-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
5-7-5			オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	17	
5-7-6			ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	17	
5-7-7			矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
5-7-8			堰本体工			64	
5-7-9			水叩工			64	
5-7-10			土砂吐工			64	
5-7-11			取付擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58	
第8節 魚道工		5-8-3		魚道本体工			65
第9節 管理橋下部工		5-9-2		管理橋橋台工			65
第10節 鋼管理橋上部工	5-10-4		架設工(クレーン架設)		2-13 架設工(鋼橋)	53	
	5-10-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		2-13 架設工(鋼橋)	53	
	5-10-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		2-13 架設工(鋼橋)	54	
	5-10-7		架設工(架設桁架設)		2-13 架設工(鋼橋)	54	
	5-10-8		架設工(送出し架設)		2-13 架設工(鋼橋)	54	
	5-10-9		架設工(トラベラークレーン架設)		2-13 架設工(鋼橋)	54	
	5-10-10		支承工		第10編4-5-10支承工	96	
第11節 橋梁現場塗装工	5-11-2		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14	
第12節 床版工	5-12-2		床版工		第3編2-18-2床版工	61	
第13節 橋梁付属物工(鋼管理橋)	5-13-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10	
	5-13-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97	
	5-13-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97	
	5-13-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97	
	5-13-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97	
第15節 コンクリート管 理橋上部工 (PC橋)	5-15-2		プレテンション桁製作工(購入工)		第3編2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	7	
	5-15-3		ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13ポストテンション桁製作工	7	
	5-15-4		プレキャストセグメント桁製作工(購入)		第3編2-3-13プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	8	

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第15節 コンクリート管 理橋上部工 (PC橋)	5-15-5		プレキャストセグメント 主桁組立工		第3編2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	8
	5-15-6		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-15-7		架設工(クレーン架)		2-13 架設工(コンクリート橋)	55
	5-15-8		架設工(架設桁架設)		2-13 架設工(コンクリート橋)	55
	5-15-9		床版・横組工		第3編2-18-2床版工	61
	5-15-10		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第16節 コンクリート管 理橋上部工(P Cホロー スラブ 橋)	5-16-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-16-4		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
	5-16-5		PCホロースラブ製作 工		第3編2-3-15PCホロースラブ 製作工	8
第17節 コンクリート管 理橋上部工(P C箱桁橋)	5-17-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-17-4		PC箱桁製作工		第3編2-3-16PC箱桁製作工	9
	5-17-5		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置	97
第18節 橋梁付属物工 (コンクリート管 理橋)	5-18-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10
	5-18-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97
	5-18-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97
	5-18-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97
	5-18-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97
第20節 付属物設置工	5-20-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	5-20-7		階段工		第3編2-3-22階段工	10
第6章 排水機場						
第3節 軽量盛土工	6-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 機場本体工	6-4-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	6-4-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	6-4-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
	6-4-6		本体工			66
	6-4-7		燃料貯油槽工			66
第5節 沈砂池工	6-5-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	6-5-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	6-5-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
	6-5-6		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	6-5-7		コンクリート床版工			66
	6-5-8		ブロック床版工		第3編2-3-17根固めブロック	9
6-5-9		場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	13	
第6節 吐出水槽工	6-6-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	6-6-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	6-6-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
	6-6-6		本体工		第6編6-4-6本体工	66
第7章 床止め・床固め						
第3節 軽量盛土工	7-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 床止め工	7-4-4		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	7-4-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4

【第6編 河川編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第4節 床止め工	7-4-6		本体工	床固め本体工		67
				植石張り	第3編2-5-5石積(張)工	19
	7-4-7		取付擁壁工	根固めブロック	第3編2-3-17根固めブロック	9
					第3編2-15-1場所打擁壁工	58
7-4-8		水叩工	水叩工		67	
			巨石張り	第3編2-3-26多自然型護岸工	11	
			根固めブロック	第3編2-3-17根固めブロック	9	
第5節 床固め工	7-5-4		本堤工		第6編7-4-6本体工	67
	7-5-5		垂直壁工		第6編7-4-6本体工	67
	7-5-6		側壁工			67
	7-5-7		水叩工		第6編7-4-8水叩工	67
第6節 山留擁壁工	7-6-3		コンクリート擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	7-6-4		ブロック積擁壁工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
	7-6-5		石積擁壁工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	7-6-6		山留擁壁基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
第8章 河川維持						
第7節 路面補修工	8-7-3		不陸整正工		第1編2-3-6堤防天端工	2
	8-7-4		コンクリート舗装補修工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	29
	8-7-5		アスファルト舗装補修工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20
第8節 付属物復旧工	8-8-2		付属物復旧工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
第9節 付属物設置工	8-9-3		防護柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	8-9-5		付属物設置工		第3編2-3-10道路付属物工	6
第10節 光ケーブル配管工	8-10-3		配管工		第6編1-13-3配管工	62
	8-10-4		ハンドホール工		第6編1-13-4ハンドホール工	63
第12節 植栽維持工	8-12-3		樹木・芝生管理工		第3編2-14-2植生工	55
第9章 河川修繕						
第3節 軽量盛土工	9-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 腹付工	9-4-2		覆土工		第1編2-3-5法面整形工	2
	9-4-3		植生工		第3編2-14-2植生工	55
第5節 側帯工	9-5-2		縁切工	じゃかご工	第3編2-3-27羽口工(じゃかご)	12
				連節ブロック張り	第3編2-5-3コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	18
				コンクリートブロック張り	第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
				石張り	第3編2-5-5石積(張)工	19
	9-5-3		植生工		第3編2-14-2植生工	55
第6節 堤脚保護工	9-6-3		石積工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	9-6-4		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
第7節 管理用通路工	9-7-2		防護柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	9-7-4		路面切削工		第3編2-6-15路面切削工	37
	9-7-5		舗装打換え工		第3編2-6-16舗装打換え工	37
	9-7-6		オーバーレイ工		第3編2-6-17オーバーレイ工	37
	9-7-7		排水構造物工	プレキャストU型側溝・管(函)渠	第3編2-3-29側溝工	13
				集水柵工	第3編2-3-30集水柵工	14
9-7-8		道路付属物工	歩車道境界ブロック	第3編2-3-5縁石工	4	
第8節 現場塗装工	9-8-3		付属物塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14
	9-8-4		コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	6

【第7編 河川海岸】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 堤防・護岸						
第3節 軽量盛土工	1-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 地盤改良工	1-4-2		表層安定処理工		第3編2-7-4表層安定処理工	39
	1-4-3		パイルネット工		第3編2-7-5パイルネット工	39
	1-4-4		バーチカルドレーン工		第3編2-7-7バーチカルドレーン工	40
	1-4-5		締固め改良工		第3編2-7-8締固め改良工	40
	1-4-6		固結工		第3編2-7-9固結工	40
第5節 護岸基礎工	1-5-4		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10
	1-5-5		場所打コンクリート工			68
	1-5-6		海岸コンクリートブロック工			68
	1-5-7		笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
	1-5-8		基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
	1-5-9		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
第6節 護岸工	1-6-3		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	1-6-4		海岸コンクリートブロック工			68
	1-6-5		コンクリート被覆工			69
第7節 擁壁工	1-7-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
第8節 天端被覆工	1-8-2		コンクリート被覆工			69
第9節 波返工	1-9-3		波返工			69
第10節 裏法被覆工	1-10-2		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	1-10-3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
	1-10-4		コンクリート被覆工		第7編1-6-5コンクリート被覆工	69
	1-10-5		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
第11節 カルバート工	1-11-3		プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12
第12節 排水構造物工	1-12-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	1-12-4		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14
	1-12-5		管渠工	プレキャストパイプ	第3編2-3-29暗渠工	13
				プレキャストボックス	第3編2-3-29暗渠工	13
				コルゲートパイプ	第3編2-3-29暗渠工	13
				タグタイル鉄管	第3編2-3-29暗渠工	13
1-12-6		場所打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	13	
第13節 付属物設置工	1-13-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	1-13-6		階段工		第3編2-3-22階段工	10
第14節 付帯道路工	1-14-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	1-14-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20
	1-14-6		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	29
	1-14-7		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33
	1-14-8		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	1-14-9		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14
	1-14-10		縁石工		第3編2-3-5縁石工	4
	1-14-11		区画線工		第3編2-3-9区画線工	6

【第7編 河川海岸】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁	
第15節 付帯道路施設工	1-15-3		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	6	
	1-15-4		小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	4	
第2章 突堤・人工岬							
第3節 軽量盛土工	2-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3	
第4節 突堤基礎工	2-4-4		捨石工			70	
	2-4-5		吸出し防止工			70	
第5節 突堤本体工	2-5-2		捨石工			70	
	2-5-5		海岸コンクリートブロック工			71	
	2-5-6		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16	
第5節 突堤本体工	2-5-7		詰杭工		第3編2-4-4既製杭工	16	
	2-5-8		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4	
	2-5-9		石枠工			71	
	2-5-10		場所打コンクリート工			71	
	2-5-11	1	ケーソン工	ケーソン工製作			72
		2	ケーソン工	ケーソン工据付			72
		3	ケーソン工	突堤上部工(場所打コンクリート)(海岸コンクリートブロック)			72
	2-5-12	1	セルラー工	セルラー工製作			73
		2	セルラー工	セルラー工据付			73
		3	セルラー工	突堤上部工(場所打コンクリート)(海岸コンクリートブロック)			73
第6節 根固め工	2-6-2		捨石工			73	
	2-6-3		根固めブロック工			74	
第7節 消波工	2-7-2		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10	
	2-7-3		消波ブロック工			74	
第3章 海域堤防(人工リーフ、離岸堤、潜堤)							
第3節 海域堤基礎工	3-3-3		捨石工			74	
	3-3-4		吸出し防止工		第7編2-4-5吸出し防止工	70	
第4節 海域堤本体工	3-4-2		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10	
	3-4-3		海岸コンクリートブロック工		第7編2-5-5海岸コンクリートブロック工	71	
	3-4-4		ケーソン工		第7編2-5-11ケーソン工	72	
	3-4-5		セルラー工		第7編2-5-12セルラー工	73	
	3-4-6		場所打コンクリート工		第7編2-5-10場所打ちコンクリート工	71	
第4章 浚渫(海)							
第2節 浚渫工(ポンプ浚渫船)	4-2-2		浚渫船運転工		第3編2-16-3浚渫船運転工	60	
第3節 浚渫工(グラブ船)	4-3-2		浚渫船運転工		第3編2-16-3浚渫船運転工	60	
第5章 養浜							
第2節 軽量盛土工	5-2-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3	
第3節 砂止工	5-3-2		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック	9	

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 砂防堰堤						
第3節 工場製作工	1-3-3		鋼製堰堤製作工		第3編2-12-3-3桁製作工 (鋼製透過型堰堤, 鋼製流木補足 工製作工(仮組立時))	50
	1-3-4		鋼製堰堤仮設材製作 工			75
	1-3-5		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53
第5節 軽量盛土工	1-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第6節 法面工	1-6-2		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	1-6-3		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	1-6-4		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	1-6-6		アンカー工		第3編2-14-6アンカー工	57
	1-6-7		かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工 第3編2-3-27羽口工	12 12
第8節 コンクリート堰 堤工	1-8-4		コンクリート堰堤本体 工			75
	1-8-5		コンクリート副堰堤工		第8編1-8-4コンクリート堰堤本 体工	75
	1-8-6		コンクリート側壁工			75
	1-8-8		水叩工			76
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5		鋼製堰堤本体工	不透過型 透過型		76 77
	1-9-6		鋼製側壁工			78
	1-9-7		コンクリート側壁工		第8編1-8-6コンクリート側壁工	75
	1-9-9		水叩工		第8編1-8-8水叩工	76
	1-9-10		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14
第10節 護床工・根固 め工	1-10-4		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック	9
	1-10-6		沈床工		第3編2-3-18沈床工	10
	1-10-7		かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工 第3編2-3-27羽口工	12 12
第11節 砂防堰堤付属 物設置工	1-11-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
第12節 付帯道路工	1-12-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	1-12-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20
	1-12-6		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装	29
	1-12-7		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33
	1-12-8		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	1-12-9		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14
	1-12-10		縁石工		第3編2-3-5縁石工	4
	1-12-11		区画線工		第3編2-3-9区画線工	6
	第13節 付帯道路施設 工	1-13-3		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工
1-13-4			小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	4
第2章 流路						
第3節 軽量盛土工	2-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 流路護岸工	2-4-4		基礎工(護岸)		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
	2-4-5		コンクリート擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	2-4-6		ブロック積擁壁工		第3編2-5-3コンクリートブロッ ク工	18
	2-4-7		石積擁壁工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	2-4-8		護岸付属物工		第6編1-7-4護岸付属物工	62
	2-4-9		植生工		第3編2-14-2植生工	55

【第8編 砂防編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 床固め工	2-5-4		床固め本土工			78
	2-5-5		垂直壁工		第8編1-8-4コンクリート堰堤本 体工	75
	2-5-6		側壁工		第8編1-8-6コンクリート側壁工	75
	2-5-7		水叩工		第8編1-8-8水叩工	76
	2-5-8		魚道工			78
第6節 根固め・水制	2-6-4		根固めブロック工		第3編2-3-17根固めブロック	9
	2-6-6		捨石工		第3編2-3-19捨石工	10
	2-6-7		かご工	じゃかご	第3編2-3-27羽口工	12
				ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	12
第7節 流路付属物設置工	2-7-2		階段工		第3編2-3-22階段工	10
	2-7-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
第3章 斜面对策						
第3節 軽量盛土工	3-3-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第4節 法面工	3-4-2		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	3-4-3		吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	3-4-4		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	3-4-5		かご工	じゃかご	第3編2-3-27羽口工	12
				ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	12
	3-4-6		アンカー工(プレキャストコンクリート板)		第3編2-14-6アンカー工	57
3-4-7		抑止アンカー工		第3編2-14-6アンカー工	57	
第5節 擁壁工	3-5-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	3-5-4		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	3-5-5		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁	58
	3-5-6		補強土壁工		第3編2-15-3補強土壁工	59
	3-5-7		井桁ブロック工		第3編2-15-4井桁ブロック工	59
	3-5-8		落石防護工		第10編1-11-5落石防護柵工	86
第6節 山腹水路工	3-6-3		山腹集水路・排水路		第3編2-3-29場所打水路工	13
	3-6-4		山腹明暗渠工			79
	3-6-5		山腹暗渠工			79
	3-6-6		現場打水路工		第3編2-3-29場所打水路工	13
	3-6-7		集水柵工		第3編2-3-30集水柵工	14
第7節 地下水排除工	3-7-4		集排水ポーリング工			79
	3-7-5		集水井工			80
第8節 地下水遮断工	3-8-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	3-8-4		固結工		第3編2-7-9固結工	40
	3-8-5		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
第9節 抑止杭工	3-9-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	3-9-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	3-9-5		シャフト工(深礎工)		第3編2-4-6深礎工	17
	3-9-6		合成杭工			80

【第9編 ダム編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 コンクリートダム						
第4節 ダムコンクリート工	1-4		コンクリートダム工	本体		81
	1-4		コンクリートダム工	水叩		81
	1-4		コンクリートダム工	副ダム		82
	1-4		コンクリートダム工	導流壁		83
第2章 フィルダム						
第3節 盛立工	2-3-5		コアの盛立			84
	2-3-6		フィルターの盛立			84
	2-3-7		ロックの盛立			84
	2		フィルダム(洪水吐)			85
第3章 基礎グラウチング						
第3節 ポーリング工	3-3		ポーリング工			85

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第1章 道路改良						
第3節 工場製作工	1-3-2		遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工 工場塗装工	第3編2-12-11工場塗装工	86 53
第4節 地盤改良工	1-4-2		表層安定処理工		第3編2-7-4表層安定処理工	39
	1-4-3		置換工		第3編2-7-3置換工	38
	1-4-4		サンドマット工		第3編2-7-6サンドマット工	39
	1-4-5		パーチカルドレーン工		第3編2-7-7パーチカルドレーン工	40
	1-4-6		締固め改良工		第3編2-7-8締固め改良工	40
	1-4-7		固結工		第3編2-7-9固結工	40
第5節 法面工	1-5-2		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	1-5-3		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	1-5-4		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	1-5-6		アンカー工		第3編2-14-6アンカー工	57
	1-5-7		かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工	12 12
第6節 軽量盛土工	1-6-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第7節 擁壁工	1-7-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	1-7-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	1-7-5		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	1-7-6		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁	58
	1-7-7		補強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工法 多数アンカー式補強土工法 ジオテキスタイルを用いた補強土工法	第3編2-15-3補強土壁工 第3編2-15-3補強土壁工 第3編2-15-3補強土壁工	59 59 59
	1-7-8		井桁ブロック工		第3編2-15-4井桁ブロック工	59
第8節 石・ブロック積(張)工	1-8-3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
	1-8-4		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第9節 カルバート工	1-9-4		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	1-9-5		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	1-9-6		場所打函渠工			86
	1-9-7		プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12
第10節 排水構造物工 (小型水路工)	1-10-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	1-10-4		管渠工		第3編2-3-29側溝工	13
	1-10-5		集水樹・マンホール工		第3編2-3-30集水樹工	14
	1-10-6		地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	13
	1-10-7		場所打水路工		第3編3-2-29場所打水路工	13
	1-10-8		排水工(小段排水・縦排水)		第3編2-3-29側溝工	13
第11節 落石雪害防止工	1-11-4		落石防止網工			86
	1-11-5		落石防護柵工			86
	1-11-6		防雪柵工			87
	1-11-7		雪崩予防柵工			87
第12節 遮音壁工	1-12-4		遮音壁基礎工			87
	1-12-5		遮音壁本体工			87
第2章 舗装						
第3節 地盤改良工	2-3-2		路床安定処理工		第3編2-7-2路床安定処理工	38
	2-3-3		置換工		第3編2-7-3置換工	38
第4節 舗装工	2-4-5		アスファルト舗装工		第3編2-6-7アスファルト舗装工	20
	2-4-6		半たわみ性舗装工		第3編2-6-8半たわみ性舗装工	23
	2-4-7		排水性舗装工		第3編2-6-9排水性舗装工	25
	2-4-8		透水性舗装工		第3編2-6-10透水性舗装工	27
	2-4-9		グースアスファルト舗装工		第3編2-6-11グースアスファルト舗装工	28
	2-4-10		コンクリート舗装工		第3編2-6-12コンクリート舗装工	29
	2-4-11		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33
	2-4-12		ブロック舗装工		第3編2-6-14ブロック舗装工	35
	2-4		歩道路盤工			88
			取合舗装路盤工			88
			路肩舗装路盤工			88
			歩道舗装工			88
			取合舗装工			88
		路肩舗装工			88	
		表層工			88	
第5節 排水構造物工 (路面排水工)	2-5-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	2-5-4		管渠工		第3編2-3-29側溝工	13
	2-5-5		集水樹(街渠樹)・マンホール工		第3編2-3-30集水樹工	14
	2-5-6		地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	13
	2-5-7		場所打水路工		第3編3-2-29場所打水路工	13
	2-5-8		排水工(小段排水・縦排水)		第3編2-3-29側溝工	13
	2-5-9		排水性舗装用路肩排水工			89
第6節 縁石工	2-6-3		縁石工		第3編2-3-5縁石工	4

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁		
第7節 踏掛版工	2-7-4		踏掛版工	コンクリート工		89		
				ラバーシュー		89		
				アンカーボルト		89		
第8節 防護柵工	2-8-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5		
	2-8-4		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5		
	2-8-5		ボックスビーム工		第3編2-3-8路側防護柵工	5		
	2-8-6		車止めポスト工		第3編2-3-7防止柵工	5		
第9節 標識工	2-9-3		小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	4		
	2-9-4	1	大型標識工	標識基礎工		89		
		2	大型標識工	標識柱工		89		
第10節 区画線工	2-10-2		区画線工		第3編2-3-9区画線工	6		
第12節 道路付属施設工	2-12-4		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	6		
				2-12-5	1	ケーブル配管工	ケーブル配管工	90
				2	ケーブル配管工	ハンドホール	90	
	2-12-6		照明工	照明柱基礎工	90			
第13節 橋梁付属物工	2-13-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10		
第3章 橋梁下部								
第3節 工場製作工	3-3-2		刃口金物製作工		第3編2-12-1刃口金物製作工	46		
	3-3-3		鋼製橋脚製作工			91		
	3-3-4		アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8アンカーフレーム製作工	52		
					第3編2-12-11工場塗装工	53		
3-3-5		工場塗装工						
第5節 軽量盛土工	3-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3		
第6節 橋台工	3-6-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16		
	3-6-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16		
	3-6-5		深礎工		第3編2-4-6深礎工	17		
	3-6-6		オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	17		
	3-6-7		ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	17		
	3-6-8		橋台躯体工			82		
第7節 RC橋脚工	3-7-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16		
	3-7-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16		
	3-7-5		深礎工		第3編2-4-6深礎工	17		
	3-7-6		オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	17		
	3-7-7		ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	17		
	3-7-8		鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工	18		
	3-7-9	1	橋脚躯体工	張出式		93		
				重力式	第10編3-7-9橋脚躯体工	93		
				半重力式	第10編3-7-9橋脚躯体工	93		
	2	橋脚躯体工	ラーメン式		94			
第8節 鋼製橋脚工	3-8-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16		
	3-8-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16		
	3-8-5		深礎工		第3編2-4-6深礎工	17		
	3-8-6		オープンケーソン基礎工		第3編2-4-7オープンケーソン基礎工	17		
	3-8-7		ニューマチックケーソン基礎工		第3編2-4-8ニューマチックケーソン基礎工	17		
	3-8-8		鋼管矢板基礎工		第3編2-4-9鋼管矢板基礎工	18		

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 鋼製橋脚工	3-8-9	1	橋脚フーチング工	I型・T型		94
		2	橋脚フーチング工	門型		95
	3-8-10	1	橋脚架設工	I型・T型		95
		2	橋脚架設工	門型		95
	3-8-11		現場継手工			95
3-8-12		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14	
第9節 護岸基礎工	3-9-3		基礎工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
	3-9-4		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
第10節 矢板護岸工	3-10-3		笠コンクリート工		第3編2-4-3基礎工(護岸)	15
	3-10-4		矢板工		第3編2-3-4矢板工	4
第11節 法覆護岸工	3-11-2		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
			護岸付属物工		第6編1-7-4護岸付属物工	62
	3-11-3		緑化ブロック工		第3編2-5-4緑化ブロック工	19
	3-11-4		環境護岸ブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
			石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19
	3-11-5		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	3-11-6		多自然型護岸工	巨石張り	第3編2-3-26多自然型護岸工	11
			多自然型護岸工	巨石積み	第3編2-3-26多自然型護岸工	11
	3-11-7		多自然型護岸工	かごマット	第3編2-3-26多自然型護岸工	11
			吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	3-11-8		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	3-11-9		覆土工		第1編2-3-5法面整形工	2
	3-11-10		羽口工	じゃかご	第3編2-3-27羽口工	12
		ふとんかご		第3編2-3-27羽口工	12	
		かご枠		第3編2-3-27羽口工	12	
3-11-11			連節ブロック張り	第3編2-5-3-2連節ブロック張り	18	
	3-11-12					
第12節 擁壁護岸工	3-12-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	3-12-4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工	58
第4章 鋼橋上部						
第3節 工場製作工	4-3-3		桁製作工		第3編2-12-3桁製作工	47
			検査路製作工		第3編2-12-4検査路製作工	51
	4-3-4		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製作工	51
			落橋防止装置製作工		第3編2-12-6落橋防止装置製作工	51
	4-3-5		鋼製排水管製作工		第3編2-12-10鋼製排水管製作工	53
	4-3-6		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製作工	51
	4-3-7		橋梁用高欄製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製作工	51
	4-3-8		横断歩道橋製作工		第3編2-12-3桁製作工	47
	4-3-9		アンカーフレーム製作工		第3編2-12-8アンカーフレーム製作工	52
	4-3-10		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 鋼橋架設工	4-5-4		架設工(クレーン架設)		第3編2-13-3架設工(クレーン架設)	54
	4-5-5		架設工(ケーブルクレーン架設)		第3編2-13-4架設工(ケーブルクレーン架設)	54
	4-5-6		架設工(ケーブルエレクション架設)		第3編2-13-5架設工(ケーブルエレクション架設)	54
	4-5-7		架設工(架設桁架設)		第3編2-13-6架設工(架設桁架設)	54
	4-5-8		架設工(送出し架設)		第3編2-13-7架設工(送出し架設)	54
	4-5-9		架設工(トラベラークレーン架設)		第3編2-13-8架設工(トラベラークレーン架設)	54
	4-5-10	1	支承工	鋼製支承		96
		2	支承工	ゴム支承		96
第6節 橋梁現場塗装工	4-6-3		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14
第7節 床版工	4-7-2		床版工		第3編2-18-2床版工	61
第8節 橋梁付属物工	4-8-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10
	4-8-3		落橋防止装置工			97
	4-8-5		地覆工			97
	4-8-6		橋梁用防護柵工			97
	4-8-7		橋梁用高欄工			97
	4-8-8		検査路工			97
第9節 歩道橋本体工	4-9-3		既製杭工		第3編2-4-4既製杭工	16
	4-9-4		場所打杭工		第3編2-4-5場所打杭工	16
	4-9-5		橋脚フーチング工	I型	第10編3-8-9橋脚フーチング工	94
				T型	第10編3-8-9橋脚フーチング工	94
	4-9-6		歩道橋(側道橋)架設工		第3編2-13 橋梁架設工	54
4-9-7		現場塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14	
第5章 コンクリート橋上部						
第3節 工場製作工	5-3-2		プレビーム用桁製作工		第3編2-12-9プレビーム用桁製作工	52
	5-3-3		橋梁用防護柵製作工		第3編2-12-7橋梁用防護柵製作工	51
	5-3-4		鋼製伸縮継手製作工		第3編2-12-5鋼製伸縮継手製作工	51
	5-3-5		検査路製作工		第3編2-12-4検査路製作工	51
	5-3-6		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53
第5節 PC橋工	5-5-2		プレテンション桁製作工(購入工)	けた橋	第3編2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	7
				スラブ橋	第3編2-3-12プレテンション桁製作工(購入工)	7
	5-5-3		ポストテンション桁製作工		第3編2-3-13ポストテンション桁製作工	7
	5-5-4		プレキャストセグメント桁製作工(購入工)		第3編2-3-13プレキャストセグメント桁製作工(購入工)	8
	5-5-5		プレキャストセグメント主桁組立工		第3編2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工	8
	5-5-6		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-5-7		架設工(クレーン架設)		第3編2-13-3架設工(クレーン架設)	54
	5-5-8		架設工(架設桁架設)		第3編2-13-6架設工(架設桁架設)	54
	5-5-9		床版・横組工		第3編2-18-2床版工	61

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第5節 PC橋工	5-5-10		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第6節 プレベーム桁橋工	5-6-2		プレベーム桁製作工	現場		98
	5-6-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-6-4		架設工(クレーン架設)		第3編2-13-3架設工(クレーン架設)	54
	5-6-5		架設工(架設桁架設)		第3編2-13-6架設工(架設桁架設)	54
	5-6-6		床版・横組工		第3編2-18-2床版工	61
	5-6-9		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第7節 PCホロースラブ橋	5-7-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-7-4		PCホロースラブ製作工		第3編2-3-15PCホロースラブ製作工	8
	5-7-5		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第8節 RCホロースラブ橋工	5-8-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-8-4		RC場所打ホロースラブ製作工		第3編2-3-15PCホロースラブ製作工	8
	5-8-5		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第9節 PC版桁橋工	5-9-2		PC版桁製作工		第3編2-3-15PCホロースラブ製作工	8
第10節 PC箱桁橋工	5-10-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-10-4		PC箱桁製作工		第3編2-3-16PC箱桁製作工	9
	5-10-5		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
第11節 PC片持箱桁橋工	5-11-2		PC片持箱桁製作工		第3編2-3-16PC箱桁製作工	9
	5-11-3		支承工		第10編4-5-10支承工	96
	5-11-4		架設工(片持架設)		第3編2-13-1架設工(コンクリート橋)	55
第12節 PC押し箱桁橋工	5-12-2		PC押し箱桁製作工		第3編2-3-16PC押し箱桁製作工	9
	5-12-3		架設工(押し架設)		第3編2-13-1架設工(コンクリート橋)	55
第13節 橋梁付属物工	5-13-2		伸縮装置工		第3編2-3-24伸縮装置工	10
	5-13-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97
	5-13-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97
	5-13-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97
	5-13-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97
第6章 トンネル(NATM)						
第4節 支保工	6-4-3		吹付工			98
	6-4-4		ロックボルト工			98
第5節 覆工	6-5-3		覆工コンクリート工			99
	6-5-4		側壁コンクリート工		第10編6-5-3覆工コンクリート	99
	6-5-5		床版コンクリート工			99
第6節 インバート工	6-6-4		インバート本体工			100
第7節 坑内付帯工	6-7-5		地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	13
第8節 坑門工	6-8-4		坑門本体工			100
	6-8-5		明り巻工			101

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第11章 共同溝						
第3節 工場製作工	11-3-3		工場塗装工		第3編2-12-11工場塗装工	53
第6節 現場打構築工	11-6-2		現場打躯体工			102
	11-6-4		カラー継手工			102
	11-6-5	1	防水工	防水		102
		2	防水工	防水保護工		102
3		防水工	防水壁		103	
第7節 プレキャスト構築工	11-7-2		プレキャスト躯体工			103
第12章 電線共同溝						
第5節 電線共同溝工	12-5-2		管路工	管路部		103
	12-5-3		プレキャストボックス	特殊部		104
	12-5-4		現場打ちボックス工	特殊部	第10編11-6-2現場打躯体工	102
第6節 付帯設備工	12-6-2		ハンドホール工			104
第13章 情報ボックス工						
第3節 情報ボックス工	13-3-3		管路工	管路部	第10編12-5-2管路工(管路部)	103
第4節 付帯設備工	13-4-2		ハンドホール工		第10編12-6-2ハンドホール工	104
第14章 道路維持						
第4節 舗装工	14-4-3		路面切削工		第3編2-6-15路面切削工	37
	14-4-4		舗装打換え工		第3編2-6-16舗装打換え工	37
	14-4-5		切削オーバーレイ工		第3編2-6-15路面切削工 第3編2-6-16舗装打換え工	37
	14-4-6		オーバーレイ工		第3編2-6-17オーバーレイ工	37
	14-4-7		路上再生工			105
	14-4-8		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33
	第5節 排水構造物工	14-5-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工
14-5-4			管渠工		第3編2-3-29側溝工	13
14-5-5			集水柵・マンホール工		第3編2-3-30集水柵工	14
14-5-6			地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	13
14-5-7			場所打水路工		第3編3-2-29場所打水路工	13
14-5-8			排水工		第3編2-3-29側溝工	13
第6節 防護柵工	14-6-2		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	14-6-3		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	14-6-5		ボックスビーム工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	14-6-6		車止めポスト工		第3編2-3-7防止柵工	5
第7節 標識工	14-7-3		小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	4
	14-7-4		大型標識工		第10編2-9-4大型標識工	89
第8節 道路付属施設工	14-8-4		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	6
	14-8-5		ケーブル配管工		第10編2-12-5ケーブル配管工	90
	14-8-6		照明工		第10編2-12-6照明工	90
第9節 軽量盛土工	3-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第10節 擁壁工	14-10-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	14-10-4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工	58
第11節 石・ブロック積(張)工	14-11-3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
	14-11-4		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 カルバート工	14-12-4		場所打函渠工		第10編1-9-6場所打函渠工	86
	14-12-5		プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12
第13節 法面工	14-13-2		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	14-13-3		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	14-13-4		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	14-13-6		アンカー工		第3編2-14-6アンカー工	57
	14-13-7		かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工 第3編2-3-27羽口工	12 12
第15節 橋梁付属物工	15-15-2		伸縮継手工		第3編2-3-24伸縮装置工	10
	15-15-4		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97
	15-15-5		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97
	15-15-6		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97
	15-15-7		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97
第17節 現場塗装工	14-17-6		コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	6
第16章 道路修繕						
第3節 工場製作工	16-3-4		桁補強材製作工			106
	16-3-5		落橋防止装置製作工		第3編2-12-6落橋防止装置製作工	51
第5節 舗装工	16-5-3		路面切削工		第3編2-6-15路面切削工	37
	16-5-4		舗装打換え工		第3編2-6-16舗装打換え工	37
	16-5-5		切削オーバーレイ工		第3編2-6-15路面切削工 第3編2-6-16舗装打換え工	37
	16-5-6		オーバーレイ工		第3編2-6-17オーバーレイ工	37
	16-5-7		路上再生工		第10編14-4-7路上再生工	105
	16-5-8		薄層カラー舗装工		第3編2-6-13薄層カラー舗装工	33
第6節 排水構造物工	16-6-3		側溝工		第3編2-3-29側溝工	13
	16-6-4		管渠工		第3編2-3-29側溝工	13
	16-6-5		集水枡・マンホール工		第3編2-3-30集水枡工	14
	16-6-6		地下排水工		第3編2-3-29暗渠工	13
	16-6-7		場所打水路工		第3編3-2-29場所打水路工	13
	16-6-8		排水工		第3編2-3-29側溝工	13
第7節 縁石工	17-7-3		縁石工		第3編2-3-5縁石工	4
第8節 防護柵工	16-8-3		路側防護柵工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	16-8-4		防止柵工		第3編2-3-7防止柵工	5
	16-8-5		ボックスビーム工		第3編2-3-8路側防護柵工	5
	16-8-6		車止めポスト工		第3編2-3-7防止柵工	5
第9節 標識工	16-9-3		小型標識工		第3編2-3-6小型標識工	4
	16-9-4		大型標識工		第10編2-9-4大型標識工	89
第10節 区画線工	16-10-2		区画線工		第3編2-3-9区画線工	6
第12節 道路付属施設工	16-12-4		道路付属物工		第3編2-3-10道路付属物工	6
	16-12-5		ケーブル配管工		第10編2-12-5ケーブル配管工	90
	16-12-6		照明工		第10編2-12-6照明工	90
第13節 軽量盛土工	3-5-2		軽量盛土工		第1編2-4-3路体盛土工	3
第14節 擁壁工	16-14-3		場所打擁壁工		第3編2-15-1場所打擁壁工	58
	16-14-4		プレキャスト擁壁工		第3編2-15-2プレキャスト擁壁工	58
第15節 石・ブロック積(張)工	16-15-3		コンクリートブロック工		第3編2-5-3コンクリートブロック工	18
	16-15-4		石積(張)工		第3編2-5-5石積(張)工	19

【第10編 道路編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第16節 カルバート工	16-16-4		場所打函渠工		第10編1-9-6場所打函渠工	86
	16-16-5		プレキャストカルバート工		第3編2-3-28プレキャストカルバート工	12
第17節 法面工	16-17-2		植生工		第3編2-14-2植生工	55
	16-17-3		法面吹付工		第3編2-14-3吹付工	56
	16-17-4		法枠工		第3編2-14-4法枠工	57
	16-17-6		アンカー工		第3編2-14-6アンカー工	57
	16-17-7		かご工	じゃかご ふとんかご	第3編2-3-27羽口工 第3編2-3-27羽口工	12 12
第18節 落石雪害防止工	18-18-4		落石防止網工		第10編1-11-4落石防止網工	86
	18-18-5		落石防護柵工		第10編1-11-5落石防護柵工	86
	18-18-6		防雪柵工		第10編1-11-6防雪柵工	87
	18-18-7		雪崩予防柵工		第10編1-11-7雪崩予防柵工	87
第20節 鋼桁工	16-20-3		鋼桁補強工		第10編16-3-4桁補強材製作	106
第21節 橋梁支承工	16-21-3		鋼橋支承工		第10編4-5-10支承工	96
	16-21-4		PC橋支承工		第10編4-5-10支承工	96
第22節 橋梁付属物工	16-22-3		伸縮継手工		第3編2-3-24伸縮装置工	10
	16-22-4		落橋防止装置工		第10編4-8-3落橋防止装置工	97
	16-22-6		地覆工		第10編4-8-5地覆工	97
	16-22-7		橋梁用防護柵工		第10編4-8-6橋梁用防護柵工	97
	16-22-8		橋梁用高欄工		第10編4-8-7橋梁用高欄工	97
	16-22-9		検査路工		第10編4-8-8検査路工	97
第25節 現場塗装工	16-25-3		橋梁塗装工		第3編2-3-31現場塗装工	14
	16-25-6		コンクリート面塗装工		第3編2-3-11コンクリート面塗装工	6

【第13編 下水道編】

章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第2章 管渠						
			管渠基礎工 (コンクリート基礎)		第3編2-3-28プレキャストカル パート工	12
			管渠基礎工 (砂基礎、砂砂利基 礎)		第3編2-4-1一般事項	15
			管渠(開削工)			107
			管渠(現場打ち渠工)			107
			管渠工(推進工)			108
			管渠(シールド工)	一次覆工		108
			管渠(シールド工)	二次覆工		108
			伏せ越し	伏せ越し室		109
			伏せ越し	伏せ越し管		109
			雨水吐き室	室		110
			雨水吐き室	越流せき		110
			マンホール			110

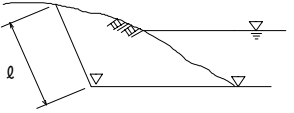
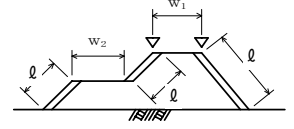
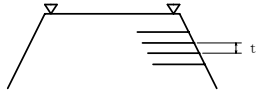
【参 考 資 料】

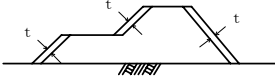
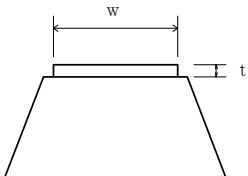
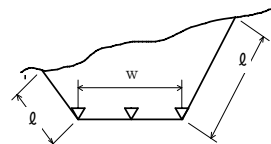
鋼製透過型堰堤、鋼製流木補足工の詳細図
 (第3編2-12-3桁製作工、第8編1-3-3鋼製堰堤製作工、第8編1-9-5鋼製堰堤本体工(透過型))

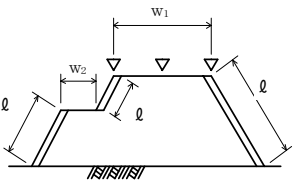
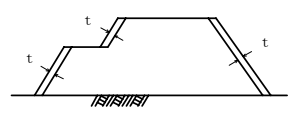
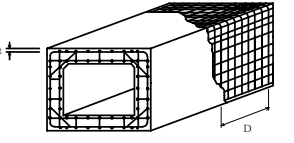
参-1

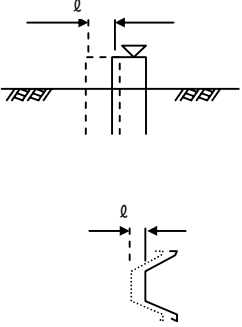
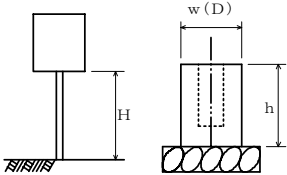
出来形管理基準及び規格値

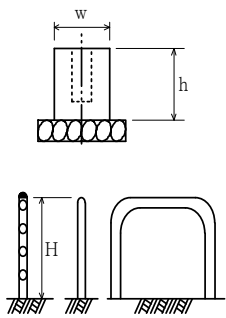
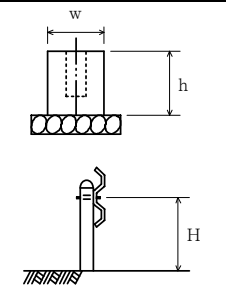
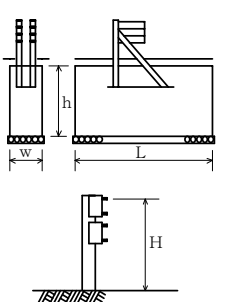
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	基準高▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。			
						法長 l	$l < 5\text{ m}$				-200
							$l \geq 5\text{ m}$				法長 - 4%
						勾配	±1.0分				
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	基準高▽	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は各法肩で測定。			
						法長 l	$l < 5\text{ m}$				-100
							$l \geq 5\text{ m}$				法長 - 2%
						幅 w_1, w_2	-100				
						勾配	±1.0分				
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	基準高▽	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						厚さ t	-50				
						控え長さ	設計値以上				
						勾配	±1.0分				

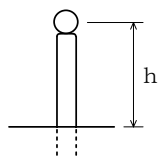
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。			
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ t	t < 15cm	-25	幅は、施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは、施工延長200mにつき1箇所、200m以下は2箇所、中央で測定。		
							t ≥ 15cm	-50			
						幅	w	-100			
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	基 準 高 ▽		±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		
						法長 l	l < 5 m	-200			
							l ≥ 5 m	法長 - 4%			
						幅	w	-100			
						勾配	1割未満	±0.5分			
1割以上	±1.0分										

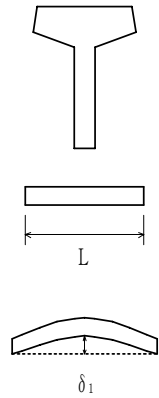
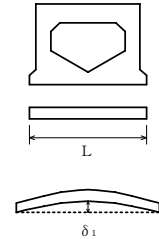
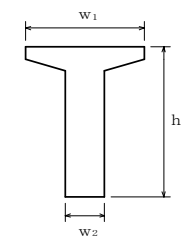
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 共通 編	2 土工	4 道路 土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	基 準 高 ▽	±50	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。			
						法長 ℓ	ℓ < 5 m				-100
							ℓ ≥ 5 m				法長 - 2 %
						幅	w ₁ , w ₂				-100
						勾配	1割未満				±0.5分
1割以上	±1.0分										
1 共通 編	2 土工	4 道路 土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚 さ t	※-30	施工延長20mにつき1箇所、延長20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。			
1 共通 編	3 無筋 鉄筋 コンクリート	7 鉄筋 工	4		組立て	平均間隔 d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$ D：n本間の延長 n：10本程度とする φ：鉄筋径 工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書（設計編13.2）参照。但し、道路橋仕方書の適用を受ける橋については、道路橋仕方書（Ⅲコンクリート橋編 6.6）による。 注1) 重要構造物 かつ主鉄筋について適用する。 注2) 橋梁コンクリート床版桁（PC橋含む）の鉄筋については、第3編2-18-2床版工を適用する。 注3) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」も併せて適用する。			
						かぶり t	±φかつ 最小かぶり 以上				

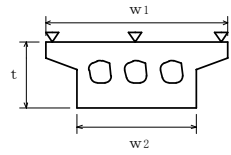
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基 準 高 ∇	± 50	基準高は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 変位は、施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						根 入 長	設計値以上				
						変 位 l	100				
						延 長 L	+矢板1枚幅 -0				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	5		縁石工 (縁石・アスカープ)	延 長 L	-200	1箇所/1施工箇所			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	6		小型標識工	設 置 高 さ H	設計値以上	1箇所/1基			
						基礎	幅 w (D)	-30			基礎1基毎
							高 さ h	-30			
							根入れ長	設計値以上			

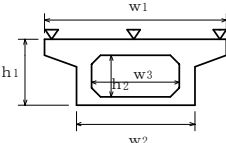
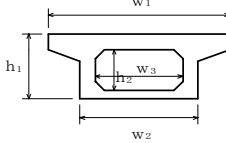
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎	幅 w	-30	単独基礎10基につき1基、10基以下のものは2基測定。測定箇所は1基につき1箇所測定。			
							高さ h	-30				
						パイプ取付高 H		+30 -20				1箇所/1施工箇所
						延 長 L		-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎	幅 w	-30	1箇所/施工延長20m 20m以下のものは、2箇所/1施工箇所。			
							高さ h	-30				
						ビーム取付高 H		+30 -20				1箇所/1施工箇所
						延 長 L		-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	基礎	幅 w	-30	1箇所/1基礎毎			
							高さ h	-30				
							延 長 L	-100				
						ケーブル取付高 H		+30 -20				1箇所/1施工箇所
						延 長 L		-200				

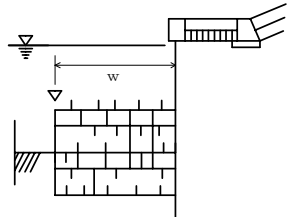
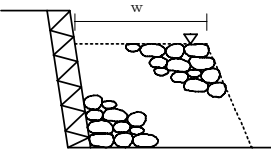
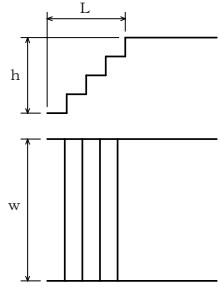
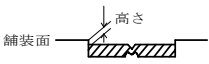
単位：mm

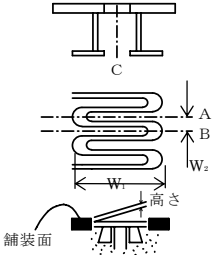
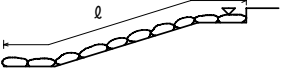
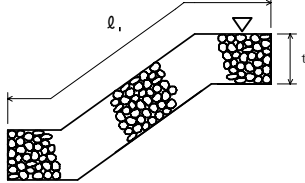
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	9		区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1箇所テストピースにより測定。ただし、延べ延長500m未満の場合は省略可。		
						幅 w	設計値以上			
						延 長 L	-200	1箇所/1施工箇所		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	10		道路付属物工 (視線誘導標) (距離標)	高 さ h	±30	1箇所/10本 10本以下の場合は、2箇所測定。		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	11		コンクリート面塗装工	塗 料 使 用 量	鋼道路橋塗装・防食便覧Ⅱ-74 「表-Ⅱ.5.5各塗料の標準使用量と標準膜厚」の標準使用量以上。	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗付作業の開始前に搬入量（充缶数）と、塗付作業終了時に使用量（空缶数）を確認し、各々必要量以上であることを確認する。 1ロットの大きさは500㎡とする。		

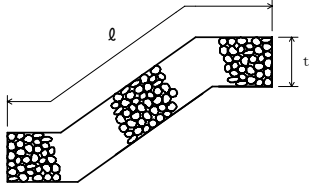
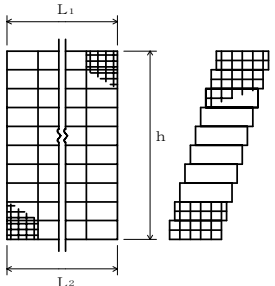
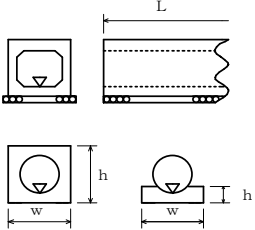
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	1	プレテンション桁製作工（購入工） （けた橋）	桁長 L (m)	$\pm L/1000$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 JIS表示品以外はJIS表示品に準じる。		
						断面の外形寸法	± 5			
						橋 桁 の そり δ_1	± 8			
						横方向の曲がり δ_2	± 10			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	12	2	プレテンション桁製作工（購入工） （スラブ桁）	桁長 L (m)	$\pm 10 \dots$ $L \leq 10m$ $\pm L/1000 \dots$ $L > 10m$	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 JIS表示品以外はJIS表示品に準じる。		
						断面の外形寸法	± 5			
						橋 桁 の そり δ_1	± 8			
						横方向の曲がり δ_2	± 10			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13	1	ポストテンション桁製作工	幅（上） w_1	+10 -5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 なお、JISマーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行するJISに基づく試験成績表に替えることができる。 ℓ ：支間長（m）		
						幅（下） w_2	± 5			
						高 さ h	+10 -5			
						桁 長 ℓ 支間長	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots$ $\pm (\ell - 5)$ か つ-30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8ℓ			

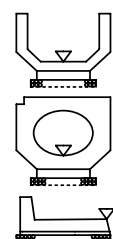
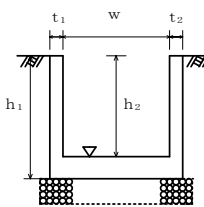
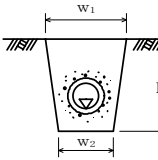
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	13	2	プレキャストセグメント 桁製作工（購入工）	桁 長 l	—	桁全数について測定。桁断面寸法測定箇所は、図面の寸法表示箇所と測定。		
						断面の外形寸法 (mm)	—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	14		プレキャストセグメント 主桁組立工	桁 長 l 支間長	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l - 5)$ か つ-30mm以内	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレンシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする l : 支間長 (m)		
						横方向最大タワミ	0.8 l			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	15		P Cホーラスラブ製作 工	基 準 高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。 l : 桁長 (m)		
						幅 w_1, w_2	$-5 \sim +30$			
						厚 さ t	$-10 \sim +20$			
						桁 長 l	$l < 15 \dots \pm 10$ $l \geq 15 \dots$ $\pm (l - 5)$ か つ-30mm以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	16	1	P C箱桁製作工	基 準 高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長（m）			
						幅（上） w_1	$-5 \sim +30$				
						幅（下） w_2	$-5 \sim +30$				
						内 空 幅 w_3	± 5				
						高 さ h_1	+10 -5				
						内空高さ h_2	+10 -5				
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \geq 15 \cdots$ $\pm (\ell - 5)$ か つ-30mm以内				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	16	2	P C押し箱桁製作工	幅（上） w_1	$-5 \sim +30$	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編2-18-2床版工に準ずる。 ℓ ：桁長（m）			
						幅（下） w_2	$-5 \sim +30$				
						内 空 幅 w_3	± 5				
						高 さ h_1	+10 -5				
						内空高さ h_2	+10 -5				
						桁 長 ℓ	$\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \geq 15 \cdots$ $\pm (\ell - 5)$ か つ-30mm以内				
						3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工				3 共 通 的 工 種
乱 積	$\pm t/2$										
厚 さ t	層 積	-20									
	乱 積	$-t/2$									
幅 w_1	層 積	-20									
	乱 積	$-t/2$									
延長 L_1	層 積	-200									
	乱 積	$-t/2$									

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	18		沈床工	基 準 高 ▽	±150	1組毎		
						幅 w	±300			
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	19		捨石工	基 準 高 ▽	-100	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	22		階段工	幅 w	-30	1回／1施工箇所		
						高 さ h	-30			
						長 さ L	-30			
						段 数	±0段			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据 付 け 高 さ	舗装面に対し 0～-2	両端及び中央部付近を測定。		
						表 面 の 凹 凸	3			
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し 0～-2			

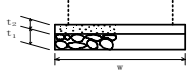
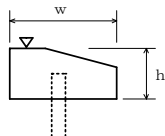
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイント)	高さ	据付け高さ	± 3	高さについては車道端部、中央部各3点計9点。 縦方向及び横方向間隔は両端、中央部の計3点。		
							車線方向各点 誤差の相対差	3			
						表面の凹凸	3				
						歯型板面の歯咬み合い部の 高低差	2				
						縦方向間隔W ₁	± 2				
						横方向間隔W ₂	± 5				
						仕 上 げ 高 さ	舗装面に対し0～ -2				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基 準 高 ▽	±200 低水護岸±500	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法 長 l	-200				
						延 長 L	-200				
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	26	2	多自然型護岸工 (かごマット)	基 準 高 ▽	-100	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法 長 l	-100				
						厚 さ t	-0.2 t				
						延 長 L	-200				

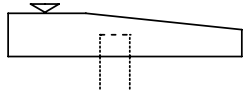
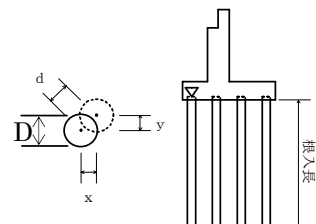
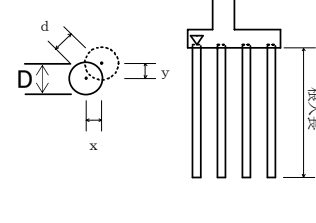
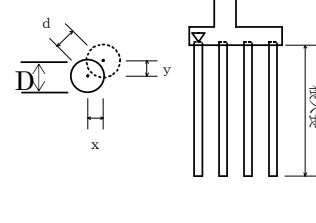
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	27	1	羽口工 (じゃかご)	法長 l	$l < 3\text{m}$	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
							$l \geq 3\text{m}$	-100			
						厚 さ t		-50			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 共通 的工 種	27	2	羽口工 (ふとんかご、かご 枠)	高 さ h		-100	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						延 長 L ₁ , L ₂		-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	3 プレ キャスト カルバ ート工	28		プレキャストカルバ ート工 (プレキャストボック ス工) (プレキャストパイプ 工)	基 準 高 ▽		±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 ※印は、現場打部分のある場合。		
						※幅 w		-20			
						※高 さ h		-30			
						延 長 L		-200			
									1 施工箇所毎		

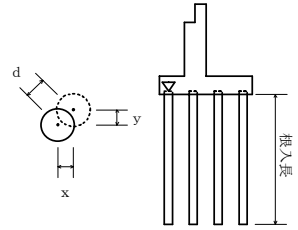
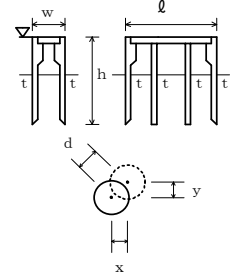
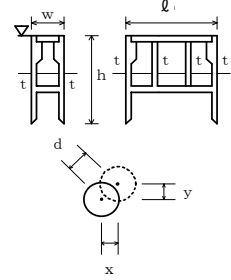
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1箇所／1施工箇所		
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	2	側溝工 (場所打水路工)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		
						厚 さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h_1, h_2	-30			
						延 長 L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	3 共 通 的 工 種	29	3	側溝工 (暗渠工)	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		
						幅 w_1, w_2	-50			
						深 さ h	-30			
						延 長 L	-200			

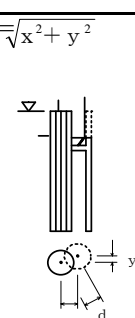
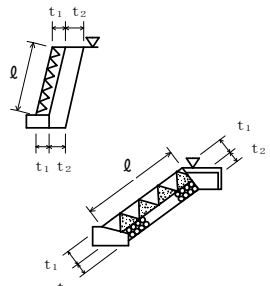
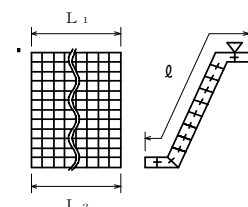
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	30		集水桝工	基準高 ▽	±30	1箇所毎 ※は、現場打部分のある場合		
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	31		現場塗装工	塗 膜 厚	<p>a. ロットの塗膜厚平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは500㎡とする。</p> <p>1ロット当たりの測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。</p>		

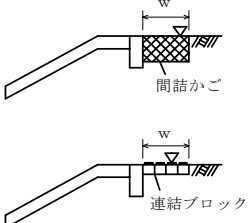
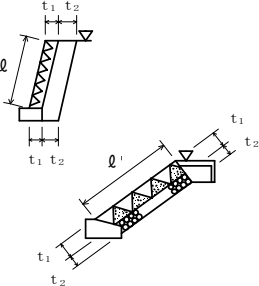
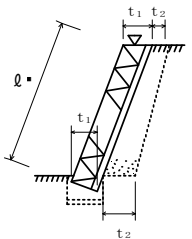
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	1		一般事項 (切込砂利) (碎石基礎工) (割ぐり石基礎工) (均しコンクリート)	幅 w	設計値以上	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						厚さ t ₁ , t ₂	設計値以上			
						延 長 L	各構造物の規格値による			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	3	1	基礎工（護岸） (現場打)	基 準 高 ▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						幅 w	-30			
						高 さ h	-30			
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	3	2	基礎工（護岸） （プレキャスト）	基 準 高 ▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	4	1	既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	D/4以内かつ100以内			
						傾 斜	1/100以内			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	4	2	既製杭工 （鋼管ソイルセメント杭）	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	設計値以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	5		場所打杭工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	100以内			
						傾 斜	1/100以内			
						杭 径 D	（設計径（公称径）-30）以上			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	6		深礎工	基 準 高 ▽	±50	全数について杭中心で測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						根 入 長	設計値以上			
						偏 心 量 d	150以内			
						傾 斜	1/50以内			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	7		オープンケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						ケーソンの長さ l	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さ h	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	4 基 礎 工	8		ニューマチックケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	
						ケーソンの長さ l	-50			
						ケーソンの幅 w	-50			
						ケーソンの高さ h	-100			
						ケーソンの壁厚 t	-20			
						偏 心 量 d	300以内			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	4 基礎 工	9		鋼管 矢板 基礎 工	基 準 高 ▽	±100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 		
						根 入 長	設計値以上				
						偏 心 量 d	300以内				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロ ック 積（ 張） 工	3	1	コン クリ ート ブロ ック 工 （コ ンク リ ート ブロ ック 積） （コ ンク リ ート ブロ ック 張 り）	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。			
						舗装面と接する場合	±30				
						法長 ℓ	ℓ < 3 m				-50
							ℓ ≥ 3 m				-100
						厚さ（ブロック積張） t ₁	-50				
						厚さ（裏込） t ₂	-50				
						延 長 L	-200				
						勾 配	±0.5分				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブロ ック 積（ 張） 工	3	2	コン クリ ート ブロ ック 工 （連 節 ブロ ック 張 り）	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法 長 ℓ	-100				
						延長 L ₁ , L ₂	-200				
						勾 配	±0.5分				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ミ ク 積 (張) 工	3	3	コン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工 (天 端 保 護 ブ ロ ッ ク)	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						幅 w	-100				
						延 長 L	-200				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ミ ク 積 (張) 工	4		緑 化 ブ ロ ッ ク 工	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。			
						法長 l	$l < 3\text{m}$				-50
							$l \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ（ブロック） t_1	-50				
						厚さ（裏込） t_2	-50				
						延 長 L	-200				
						勾 配	±0.5分				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	5 石・ ブ ロ ミ ク 積 (張) 工	5		石 積 (張) 工	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは上端部及び下端部の2箇所を測定。			
						法長 l	$l < 3\text{m}$				-50
							$l \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ（石積・張） t_1	-50				
						厚さ（裏込） t_2	-50				
						延 長 L	-200				
						勾 配	±0.5分				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは20m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が2,000m ² 以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t以上の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が2,000㎡以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t以上の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が2,000㎡以上あるいは使用する基層および表層用混合物の総使用量が、500t以上の場合が該当する。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						幅	-25	-25	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	6	アスファルト舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。 平坦性は、車線毎に全延長。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは20m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が500t以上の場合が該当する。	
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が500t以上の場合が該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	5	半たわみ性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		
						幅	-25	-25	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	6	半たわみ性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコアを採取して測定。 平坦性は、車線毎に全延長。		
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	—	基準高は延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは20m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が500t以上の場合が該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						厚 さ	-45	-45	-15	-15			
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。		
						幅	-50	-50	—	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が500t以上の場合が該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	5	排水性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		
						幅	-25	-25	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1000㎡に1個の割でコアを採取して測定。		
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3mプロファイルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 (路盤工)	基準高▽	±50		—	基準高は20m毎に1箇所割で測定。 厚さは、20m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、20m毎に1箇所測定。 ※歩道舗装に適用する。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が500t以上の場合が該当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						厚 さ	t < 15cm	-30	-10			
							t ≥ 15cm	-45	-15			
						幅	-100		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-3	幅は、20m毎に1箇所割で測定。 厚さは、20m毎に1箇所コアを採取して測定。 ※歩道舗装に適用する。			
						幅	-25					—

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値				測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		10個の測定値の平均(X ₁₀)				
							中規模以上	小規模以下	中規模以上	小規模以下			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	幅は、延長20m毎に1箇所 の割とし、厚さは、1000㎡ に1個の割でコアを採 取して測定。	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、 管理図等を描いた上で の管理が可能な工事を いい、基層および表層 用混合物の総使用量が 500t以上の場合は該 当する。 コア採取について 橋面舗装等でコア採 取により床版等に損傷 を与える恐れのある場 合は、他の方法による ことが出来る。 維持工事においては、 平坦性の項目を省略す ることが出来る。	
						幅	-50	-50	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	2	グースアスファルト 舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長20m毎に1 箇所の割とし、厚さは、 1000㎡に1個の割で コアを採取して測定。		
						幅	-25	-25	—	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	3	グースアスファルト 舗装工 (表層工)	厚 さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長20m毎に1 箇所の割とし、厚さは、 1000㎡毎に1個の割 でコアを採取して測定。 平坦性は、車線毎に全 延長。		
						幅	-25	-25	—	—			
						平 坦 性	—		3m ² プロフィールメ ーター(σ)2.4mm以 下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下				

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	基準高は延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。厚さは20m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
						厚 さ	-45		-15			
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50		—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・ 瀝青)安定処理工)	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコア を採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が 2,000㎡以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以 上の割合で規格値を満足しなければなら ないとともに、10個の測定値の平均 値 (X ₁₀) について満足しなければなら ない。ただし、厚さのデータ数が10 個未満の場合は測定値の平均値は適用 しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。	
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間 層)	厚 さ	-9	-12	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、 厚さは、1,000㎡に1個の割でコア を採取して測定。		
						幅	-25		—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	厚 さ	-10		-3.5	厚さは型枠据付後20m毎に水系又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長20m毎に1箇所の割で測定。平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上あるいは表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-25		—			
						平坦性	—		コンクリートの硬化後3mプロフィールメーターにより機械舗設の場合(σ)2.4mm以下 人力舗設の場合(σ)3mm以下			
					目地段差	± 2			隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	基準高▽	± 40	± 50	—	基準高は、延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。		
						厚 さ	-45		-15			
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50		—			

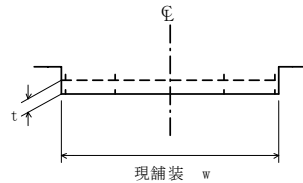
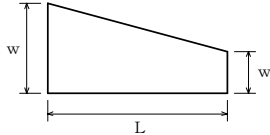
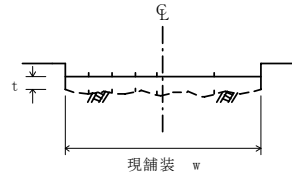
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは、掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						幅	-50		—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	厚 さ	-9	-12	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
						幅	-25		—			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	厚 さ	-15		-4.5	厚さは、型枠据付後20m毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3箇所以上測定、幅は、延長20m毎に1箇所の割で測定、平坦性は各車線毎に版縁から1mの線上、全延長とする。		
						幅	-35		—			
						平 坦 性	—		転圧コンクリートの硬化後、3mプロフィルメーターにより(σ)2.4mm以下。			
						目地段差	± 2		隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	基準高は、延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上あるいは表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						厚 さ	-45		-15			
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50		—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上あるいは表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		
						幅	-25		—			

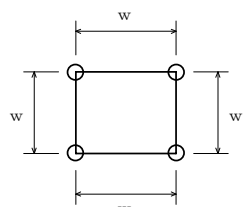
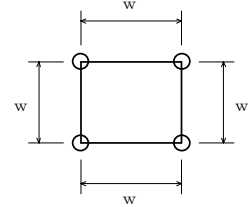
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	基準高は、延長20m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。 幅は、延長20m毎に1箇所の割に測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上あるいは表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						厚さ	-45		-15			
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、厚さは、20m毎に1箇所を掘り起こして測定。		
						幅	-50		—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)		平均の測定値 (X ₁₀)			
							中規模以上	小規模以下	中規模以上			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰) 安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	幅は、延長20m毎に1箇所割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取もしくは掘り起こして測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上あるいは表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t以上とする。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	幅は、延長20m毎に1箇所割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		
						幅	-50		—			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	14	5	ブロック舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	幅は、延長20m毎に1箇所割とし、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアーを採取して測定。		
						幅	-25		—			

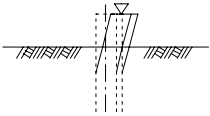
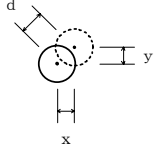
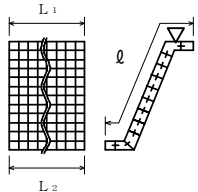
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	15		路面 切削 工	厚 さ t	-7	-2	厚さは20m（測定間隔が25mの場合は25m）毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長20m（又は25m）未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		
						幅 w	-25	—			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	16		舗装 打換 え工	路 盤 工	幅 w	-50	各層毎1箇所／1施工箇所		
							延長 L	-100			
							厚さ t	該当工種			
						舗 設 工	幅 w	-25			
							延長 L	-100			
							厚さ t	該当工種			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	17		オー バー レイ 工	厚 さ t	-9	厚さは20m（測定間隔が25mの場合は25m）毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長20m毎に1箇所の割とし、延長20m（又は25m）未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 平坦性は、車線毎に全延長。500m ² 未満の工事においては、平坦性の項目を省略することができる。			
						幅 w	-25				
						延 長 L	-100				
						平 坦 性	—				3m ² プロファイルメーター(σ)2.4mm以下直読式(足付き) (σ)1.75mm以下

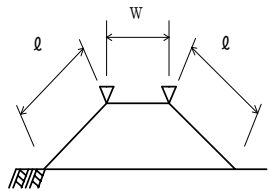
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	2		路床安定処理工	基 準 高 ∇	±50	延長20m（測定間隔が25mの場合は25m） 毎に1箇所割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。 厚さは中心線及び端部で測定。		
						施 工 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	3		置換工	基 準 高 ∇	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m） につき1箇所、延長20m（25m）以 下のものは1施工箇所につき2箇所。 厚さは中心線及び端部で測定。		
						置 換 厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

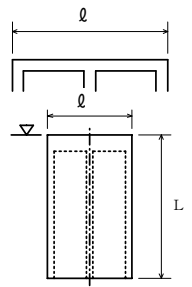
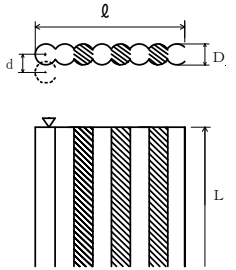
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	4		表層安定処理工 (サンドマット海上)	基 準 高 ∇	設計図書による	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。 w. (L)は施工延長20mにつき1箇所、40m以下のものは1施工箇所につき3箇所。 (L)はセンターライン及び表裏法肩で行う。		
						法 長 l	-500			
						天 端 幅 w	-300			
						天端延長 L	-500			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	5		パイルネット工	基 準 高 ∇	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。 杭については、当該杭の項目に準ずる。		
						厚 さ t	-50			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	6		サンドマット工	施工厚さ t	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして測定。		
						幅 w	-100			
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	7		パーチカルドレーン工 (サンドドレーン工) (ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレーン工) 締固め改良工 (サンドコンパクションパイル工)	位置・間隔 w	±100	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。1箇所に4本測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対象外とする。		
						杭 径 D	設計値以上			
						打 込 長 さ h	設計値以上	全本数		
						サンドドレーン、袋詰式 サンドドレーン、サンド コンパクションパイルの 砂投入量	—	全本数 計器管理にかえることができる。		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	7 地 盤 改 良 工	9		固結工 (粉体噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	基 準 高 ▽	-50	100本に1箇所。 100本以下は2箇所測定。 1箇所に4本測定。		
						位置・間隔 w	D/4 以内			
						杭 径 D	設計値以上	全本数		
						深 度 ℓ	設計値以上			

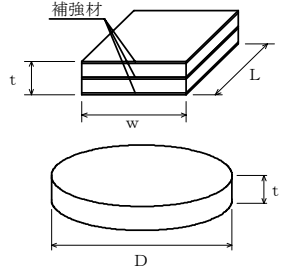
※余長は、適用除外

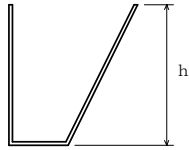
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高 ∇	± 100	基準高は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 (任意仮設は除く)		
						根 入 長	設計値以上			
						延 長 L	+矢板一枚幅 -0			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削 孔 深 さ ℓ	設計深さ以上	全数 (任意仮設は除く)		
						配 置 誤 差 d	100			
						$d = \sqrt{x^2 + y^2}$				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 (任意仮設は除く) 延長は、1施工箇所毎。		
						法 長 ℓ	-100			
						延 長 L_1 L_2	-200			
						勾 配	± 0.5 分			

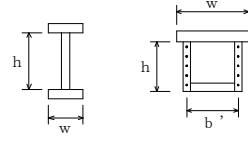
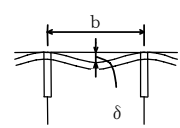
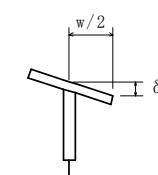
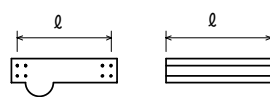
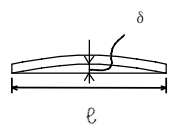
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ▽	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。 延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 （任意仮設は除く）		
						天 端 幅 w	-100			
						法 長 ℓ	-100			
						勾 配	±1.0分			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	5	5	土留・仮締切工 (中詰盛土)	基 準 高 ▽	-50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。 延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 （任意仮設は除く）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	9		地中連続壁工（壁式）	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						連壁の長さ l	-50			
						変 位	300			
						壁 体 長 L	-200			
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	10 仮 設 工	10		地中連続壁工（柱列式）	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		D：杭径
						連壁の長さ l	-50			
						変 位 d	D/4以内			
						壁 体 長 L	-200			

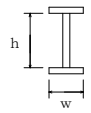
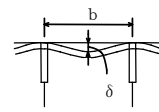
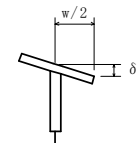
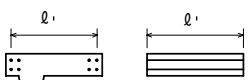
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支承工）	上下部 鋼構造物との 接合用ボルト孔	孔の直径差	+2 -0	製品全数を測定。			
							中心距離	センターボスを基準にした孔位置のずれ				
								≦1000mm				1以下
								センターボスを基準にした孔位置のずれ				
								>1000mm				1.5以下
							アンカーボルト用孔（鑄放し）	孔の直径				≦100mm
						>100mm						+4 -2
						孔の中心距離		JIS B 0403-95 CT13				
						センターボス	ボスの直径	+0 -1				
							ボスの高さ	+1 -0				

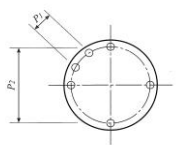
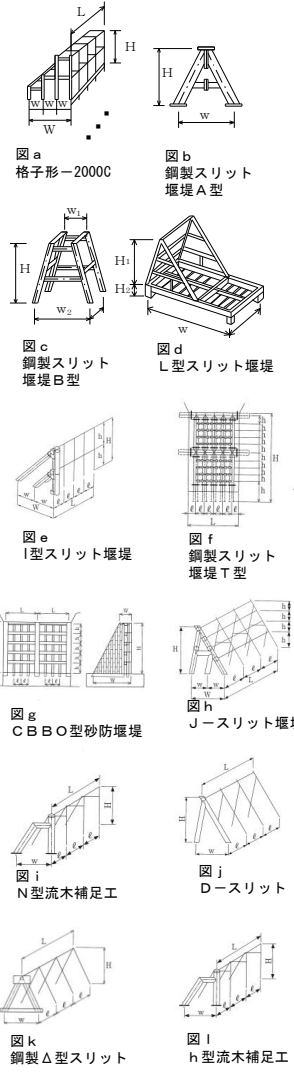
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土木工事 共通編	2 一般施工	12 工場 製作工 共通	1	1	鋳造費（金属支承工）	上沓の橋軸及び直角方向の長さ寸法	JIS B 0403-95 CT13	製品全数を測定。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接触面の橋軸及び橋軸直角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。				
						全移動量 ℓ	$\ell \leq 300\text{mm}$				± 2	
							$\ell > 300\text{mm}$				$\pm \ell / 100$	
						組立高さ H	上, 下面加工仕上げ				± 3	
							コンクリート構造用				$H \leq 300\text{mm}$	± 3
											$H > 300\text{mm}$	(H/200+3) 小数点以下切り捨て
						普通寸法	鋳放し長さ寸法 ※1)、※2)				JIS B 0403-95 CT14	
							鋳放し肉厚寸法 ※1)				JIS B 0403-95 CT15	
							削り加工寸法				JIS B 0405-91 粗級	
							ガス切断寸法				JIS B 0417-79 B級	
3 土木工事 共通編	2 一般施工	12 工場 製作工 共通	1	2	鋳造費（大型ゴム支承工）	幅 w 長さ L 直径 D	$w, L, D \leq 500$	$0 \sim +5$	製品全数を測定。 平面度：1個のゴム支承の厚さ（t）の最大相対誤差			
							$500 < w, L, D \leq 1500\text{mm}$	$0 \sim +1\%$				
							$1500 < w, L, D$	$0 \sim +15$				
						厚さ t	$t \leq 20\text{mm}$	± 0.5				
							$20 < t \leq 160$	$\pm 2.5\%$				
							$160 < t$	± 4				
						平面度	1					



編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木工事 共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	3	仮設材製作工	部 材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		
3 土木工事 共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	4	刃口金物製作工	刃口高さ h (m)	$\pm 2 \dots h \leq 0.5$ $\pm 3 \dots 0.5 < h \leq 1.0$ $\pm 4 \dots 1.0 < h \leq 2.0$		図面の寸法表示箇所にて測定。		
						外周長 L (m)	$\pm (10+L/10)$				

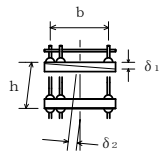
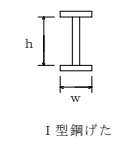
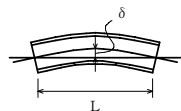
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要						
								鋼げた等	トラス・アーチ等								
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	部 材 精 度	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	±2…… w ≤ 0.5 ±3…… 0.5 < w ≤ 1.0 ±4…… 1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)…… 2.0 < w	鋼げた・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き 取った部材の中央付近を測定。 なお、JISマーク表示品を使用する場 合は、製造工場の発行するJISに基づ く試験成績表に替えることができる。	 I型鋼げた トラス弦材							
												板 の 平 面 度 δ (mm)	鋼げた及びトラス等の部材の腹板	h / 250	主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリブの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)		
													箱げた及びトラス等のフランジ鋼床版のデッキプレート	b / 150			
													フランジの直角度 δ (mm)	w / 200			
												部 材 長 ℓ (m)	鋼げた	± 3 … ℓ ≤ 10 ± 4 … ℓ > 10	原則として仮組立をしない状態の部材 について、主要部材全数を測定。		
													トラス、アーチなど	± 2 … ℓ ≤ 10 ± 3 … ℓ > 10			
													圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ / 1000	—	主要部材全数を測定。 ℓ : 部材長 (mm)	
												※規格値のw, ℓに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ, フランジの直角度 δ, 圧縮材の曲り δ」の規格値のh, b, w, ℓに代入する数値はmm単位の数値とする。					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要	
								鋼げた等	トラス・アーチ等			
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を実施する場合) (シミュレーション仮組立検査を行う場合)	仮組立精度	全長 L (m) 支間長 Ln (m)	$\pm(10+L/10)$ $\pm(10+Ln/10)$	各けた毎に全数測定。			
							主げた、主構の中心間距離 B (m)	$\pm 4 \dots B \leq 2$ $\pm(3+B/2)$ $\dots B > 2$	各支点及び各支間中央付近を測定。			
							主構の組立高さ h (m)	$\pm 5 \dots h \leq 5$ $\pm(2.5+h/2)$ $\dots h > 5$	—	両端部及び中心部を測定。		
							主げた、主構の通り δ (mm)	$5+L/5 \dots$ $L \leq 100$ $25 \dots L > 100$	最も外側の主げた又は主構について支点及び支間中央の1点を測定。 L：測線上 (m)			
							主げた、主構のそり δ (mm)	$-5 \sim +5 \dots L \leq 20$ $-5 \sim +10 \dots$ $20 < L \leq 40$ $-5 \sim +15 \dots$ $40 < L \leq 80$ $-5 \sim +25 \dots$ $80 < L \leq 200$	各主げたについて10～12m間隔を測定。 L：主げたの支間長 (m)	各主構の各格点を測定。 L：主構の支間長 (m)		
							主げた、主構の橋端における出入差 δ (mm)	設計値 ± 10	どちらか一方の主げた（主構）端を測定。			
							主げた、主構の鉛直度 δ (mm)	$3+h/1,000$	各主桁の両端部を測定。 h：主げたの高さ (mm)	支点及び支間中央付近を測定。 h：主構の高さ (mm)		
							現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	設計値 ± 5	主げた、主構の全継手数の1/2を測定。 $\delta 1, \delta 2$ のうち大きいもの 設計値が5mm以下の場合は、マイナス側については設計値以上とする。			
<p>※規格値のL, B, h に代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ」の規格値のh に代入する数値はmm単位の数値とする。</p>												

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施しない場合)	部 材 精 度	フランジ幅 w (m)	±2…… w ≤ 0.5 ±3…… 5 < w ≤ 1.0 ±4…… 1.0 < w ≤ 2.0 ±(3+w/2)…… 2.0 < w	主げた、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った 部材の中央付近を測定。	 1型鋼げた		
							板の 平面度 δ (mm)	鋼げた等の 部材の腹板	h / 250	主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h : 腹板高 (mm) b : 腹板又はリップの間隔 (mm) w : フランジ幅 (mm)		
								箱げた等の フランジ鋼 床版のデッ キプレート	b / 150			
							フランジの直角度 δ (mm)	w / 200	主要部材全数を測定。			
							部 材 長 ℓ (m)	鋼げた ± 3 … ℓ ≤ 10 ± 4 … ℓ > 10				
<p>※規格値のw, に代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「板の平面度 δ, フランジの直角度 δ」の規格値のh, b, wに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>												

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要					
3	土木工事共通編	2	一般施工	12	工場製作工 共通	3	3	桁製作工 (鋼製透過型堰堤、鋼製流木補足工製作工 (仮組立時))	部材	部材長L (m)	$\pm 2 \cdots L \leq 4$ $\pm 3 \cdots L > 4$	主要部材全数を測定。 部材同士の取合は、型板等を用いて確認する。		C B B O型のバットレス (ジョイントスパーサー部を含む) はコンクリート堰堤本体工に準じる。	
										孔間隔	$P1 = \pm 1, P2 = \pm 2$				
									仮組立時	部材の水平度	10	全数を測定。			※詳細は、参考資料のとおり。
										堤 長 L	± 30				
										堤 長 l	± 10				
										堤 幅 W	± 30				
										堤 幅 w	± 10				
										高 さ H	± 10				
										ベースプレートの高さ	± 10				
										本体の傾き	$\pm H/500$				

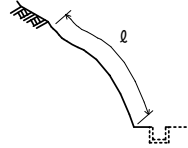
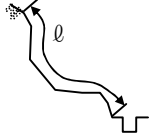
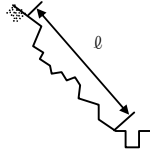
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	4		検査路製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	5		鋼製伸縮継手製作工	部材	部材長 w (m)	0 ~ +30	製品全数を測定。		
						仮 組 立 時	組合せる伸縮装置 との高さの差 δ_1 (mm)	設 計 値 ± 4			
							フィンガーの食い 違い δ_2 (mm)	± 2	(実測値) δ_2 		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	6		落橋防止装置製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	8		アンカーフレーム製作 工	仮 組 立 時	上面水平度 $\delta 1$ (mm)	$b/500$	軸心上全数測定。		
							鉛 直 度 $\delta 2$ (mm)	$h/500$			
							高さ h (mm)	± 5			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	12 工 場 製 作 工 共 通	9		プレビーム用桁製作工	部 材	フランジ幅 w (m)	$\pm 2 \dots \dots$ $w \leq 0.5$	各支点及び各支間中央付近を測定。		
							腹板高 h (m)	$\pm 3 \dots \dots$ $0.5 < w \leq 1.0$			
							フランジの直角度 δ (mm)	$\pm 4 \dots \dots$ $1.0 < w \leq 2.0$ $\pm (3 + w/2) \dots$ $2.0 < w$			
							部材長 l (m)	$\pm 3 \dots \dots l \leq 10$ $\pm 4 \dots \dots l > 10$			
仮 組 立 時					主 げ た の そ り δ		$-5 \sim +5$ $\dots L \leq 20$	各主げたについて10~12m間隔を測定。		L: 主桁・主溝 の支間長 (m)	
							$-5 \sim +10$ $\dots 20 < L \leq 40$				

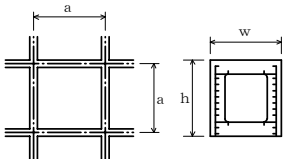
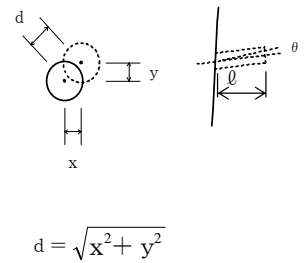
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	10		鋼製排水管製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	± 3… ℓ ≤ 10 ± 4… ℓ > 10	図面の寸法表示箇所にて測定。		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	11		工場塗装工	塗 膜 厚		<p>a. ロット塗膜厚の平均値は、目標塗膜厚合計値の90%以上。</p> <p>b. 測定値の最小値は、目標塗膜厚合計値の70%以上。</p> <p>c. 測定値の分布の標準偏差は、目標塗膜厚合計値の20%を超えない。ただし、測定値の平均値が目標塗膜厚合計値より大きい場合はこの限りではない。</p>	<p>外面塗装では、無機ジンクリッチペイントの塗付後と上塗り終了時に測定し、内面塗装では内面塗装終了時に測定。</p> <p>1ロットの大きさは、500㎡とする。</p> <p>1ロット当たり測定数は25点とし、各点の測定は5回行い、その平均値をその点の測定値とする。</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工			架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	全長L（m） 支間長Ln（m）	±(20+L/5) ±(20+Ln/5)	各けた毎に全数測定。	<p>単径間の場合 多径間の場合</p>	
						通 り δ（mm）	±(10+2L/5)	L：主げた・主構の支間長(m)		
						そ り δ（mm）	±(25+L/2)	主げた、主構を全数測定。 L：主げた・主構の支間長(m)		
						※主げた、主構の中心間距離B(m)	±4..... B≤2 ±(3+B/2)...B>2	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主げたの橋端における 出入差 δ（mm）	設計値 ±10	どちらか一方の主げた（主構）端を測定。		
						※主げた、主構の鉛直度 δ（mm）	3+h/1,000	各主げたの両端部を測定。h：主げた・主構の高さ(mm)		
						※現場継手部のすき間 δ 1, δ2（mm）	設計値 ±5	主げた、主構の全継手数の1/2を測定。 δ1, δ2のうち大きいもの設計値が5mm以下の場合は、マイナス側については設計値以上とする。		
								※は仮組立検査を実施しない工事に適用。		
<p>※規格値のL, Bに代入する数値はm単位の数値である。 ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。</p>										

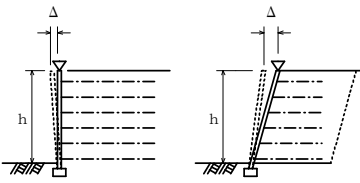
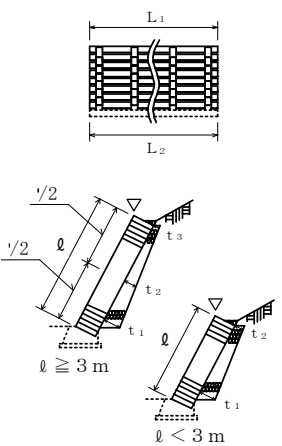
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要							
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	13 橋 梁 架 設 工			架設工（コンクリート橋） （クレーン架設） （架設桁架設） 架設工支保工（固定） （移動） 架設桁架設（片持架設） （押し架設）	全 長・支 間	—	各桁毎に全数測定。									
						桁の中心間距離	—	一連毎の両端及び支間中央について各上下間を測定。									
						そ り	—	主桁を全数測定。									
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	2	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工） （植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	切土法長 ℓ	ℓ < 5 m	-200	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。								
							ℓ ≥ 5 m	法長の－4%									
						盛土法長 ℓ	ℓ < 5 m	-100									
							ℓ ≥ 5 m	法長の－2%									
						延 長 L	-200	1施工箇所毎									
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	2	2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	法長 ℓ	ℓ < 5 m	-200	施工延長20mにつき1箇所、20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。								
							ℓ ≥ 5 m	法長の－4%									
						厚さ t	t < 5 cm	-10			施工面積200㎡につき1箇所、面積200㎡以下のものは、1施工箇所につき2箇所。 検査孔により測定。						
							t ≥ 5 cm	-20									
						但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上。											
						延 長 L	-200	1施工箇所毎									

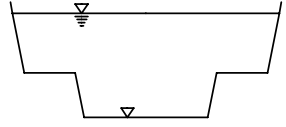
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3	2	14	3		吹付工（仮設を含む） （コンクリート） （モルタル）	法長 ℓ	ℓ < 3 m	-50	施工延長20mにつき1箇所、20m以下のものは1施工箇所につき2箇所。測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定が困難な場合は直線法長とする。	  	
							ℓ ≥ 3 m	-100			
						厚さ t	t < 5 cm	-10	200㎡につき1箇所以上、200㎡以下は2箇所をせん孔により測定。		
							t ≥ 5 cm	-20			
							但し、吹付面に凹凸がある場合の最小吹付厚は、設計厚の50%以上とし、平均厚は設計厚以上				
						延 長 L		-200	1 施工箇所毎		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき1箇所、延長20m (又は25m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。 枠延長100mにつき1箇所、枠延長100m以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1 施工箇所毎		曲線部は設計図書による
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						幅	w	-30			
						高 さ	h	-30			
						枠中心間隔	a	± 100			
延 長	L	-200									
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長 ℓ	$\ell < 10\text{m}$	-100	施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき1箇所、延長20m (又は25m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1 施工箇所毎		
							$\ell \geq 10\text{m}$	-200			
						延 長	L	-200			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	14 法 面 工 共 通	6		アンカー工	削孔深さ	ℓ	設計値以上	全数 (任意仮設は除く)	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
						配置誤差	d	100			
						せん孔方向	θ	± 2.5 度			

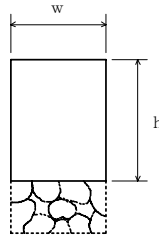
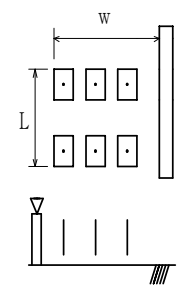
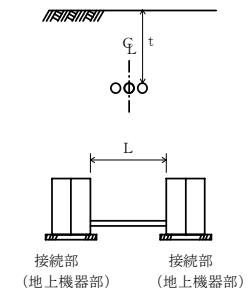
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	1		(一般事項) 場所打擁壁工	基準高▽		±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							舗装面と接する場合	±30				
						厚 さ t		-20				
						裏 込 厚 さ		-50				
						幅 w ₁ , w ₂		-20				
						高 さ h	h < 3 m					-50
							h ≥ 3 m					-100
						勾 配		±0.5分				
延 長 L		-200	1 施工箇所毎									
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	2		プレキャスト擁壁工	基準高▽		±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							舗装面と接する場合	±30				
						勾 配		±0.5分				
						延 長 L		-200				1 施工箇所毎

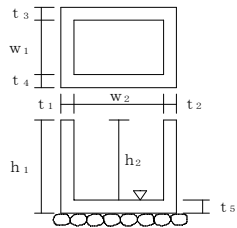
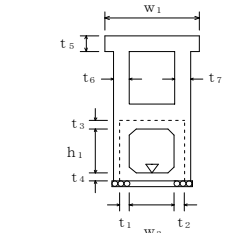
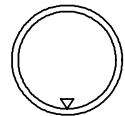
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
3 土 木 工 事 共 通 編	2 共 通 的 工 種	15 擁 壁 工 共 通	3		補強土壁工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高▽	±50	施工延長20m(測点間隔25mの場合は25m)につき1箇所、延長20m(又は25m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							舗装面と接する場合				±30
						高さ h	$h < 3\text{ m}$				-50
							$h \geq 3\text{ m}$				-100
						鉛 直 度 Δ	$\pm 0.03 h$ かつ ± 300 以内				
						控 え 長 さ	設計値以上				
延 長 L	-200		1 施工箇所毎								
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	15 擁 壁 工 共 通	4		井桁ブロック工	基準高▽	±50	施工延長20m(測点間隔25mの場合は25m)につき1箇所、延長20m(又は25m)以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法長 l	$l < 3\text{ m}$				-50
							$l \geq 3\text{ m}$				-100
						厚さ t_1, t_2, t_3	-50				
延 長 L_1, L_2	-200		1 施工箇所毎								

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要			
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	16 浚 渫 工 共 通	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)	測 定 項 目		上限	下限	延長方向は、設計図書により指定された測点毎。 横断方向は、5 m毎。 また、斜面は法尻、法肩とし必要に応じ中間点も加える。ただし、各測定値の平均値の設計基準高以下であること。			
						基準高▽	電気船	200ps	+200				-800
								500ps	+200				-1000
								1000ps	+200				-1200
							デーゼル船	250ps	+200				-800
								420ps 600ps	+200				-1000
								1350ps	+200				-1200
						幅		-200					
						延 長		-200					
						3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	16 浚 渫 工 共 通	3				2
幅		-200											
延 長		-200											

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	18 床 版 工	2		床版工	基 準 高 ▽	±20	基準高は、1 径間当たり 2 箇所（支点付近）で、1 箇所当たり両端と中央部の 3 点、幅は 1 径間当たり 3 箇所、厚さは型枠設置時におおむね10㎡に 1 箇所測定。（床版の厚さは、型枠検査をもって代える。）		注) 新設のコンクリート構造物（橋梁上・下部工および重要構造物である内空断面積25㎡以上のボックスカルバート（工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外））の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（案）」も併せて適用する
						幅 w	0～+30			
						厚 さ t	-10～+20			
						鉄筋のかぶり	設計値以上	1 径間当たり 3 断面（両端及び中央）測定。1 断面の測定箇所は断面変化毎 1 箇所とする。		
						鉄筋の有効高さ	±10			
						鉄 筋 間 隔	±20	1 径間当たり 3 箇所（両端及び中央）測定。 1 箇所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に 2 m の範囲を測定。		
上記、鉄筋の有効高さがマイナスの場合	±10									

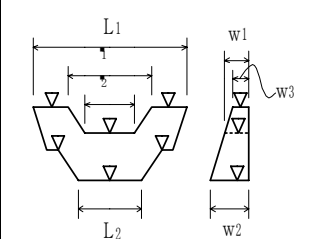
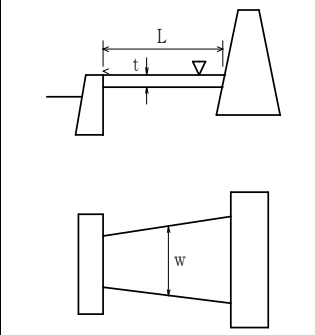
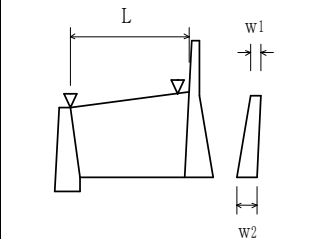
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
6 河川 編	1 築堤 護岸 工	7 法覆 護岸 工	4		護岸付属物工	幅 w	-30				
						高 さ h	-30				
6 河川 編	1 築堤 ・ 護岸	10 水制 工	8		杭出し水制工	基 準 高 ∇	± 50	1組毎			
						幅 w	± 300				
						方 向	$\pm 7^\circ$				
						延 長 L	-200				
6 河川 編	1 築堤 ・ 護岸	13 光ケ ー ブル 配管 工	3		配管工	埋 設 深 t	0~+50	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。			
						延 長 L	-200				接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】

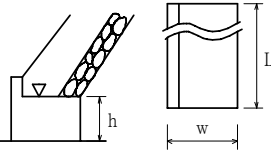
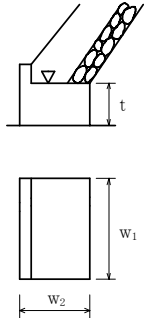
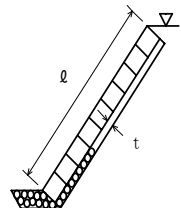
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	1 築堤・護岸	13 光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	基準高 ▽	±30	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	1	函渠工 (本体工)	基準高 ▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前（載荷前）に測定する。 函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所にて測定。 門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇所にて測定。 プレキャスト製品使用の場合は、製品寸法を規格証明書で確認するものとし、『基準高』と『延長』を測定。		
						厚さ $t_1 \sim t_8$	-20			
						幅 w_1, w_2	-30			
						内空幅 w_3	-30			
						内空高 h_1	±30			
						延長 L	-200			
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	基準高 ▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。 1施工箇所毎		
						延長 L	-200			

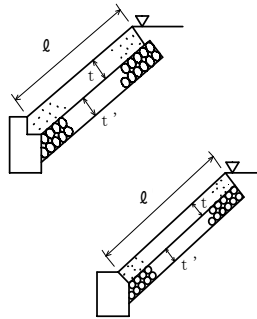
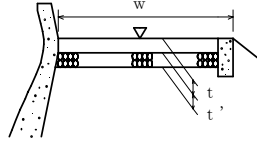
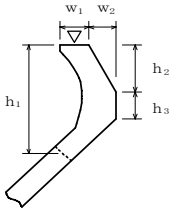
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	3 樋門・樋管	5 樋門・樋管 本体工	7 8		翼壁工 水叩工	基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	4 水門	6 水門 本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	5 堰	6 可動堰 本体工	13 14		閘門工 土砂吐工	基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	5 堰	7 固定堰 本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	基 準 高 ▽	±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工継手箇所及び構造図の寸法表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						堰長 L	L < 20m			
	L ≥ 20m	-100								

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	5 堰	8 魚道工	3		魚道本体工	基準高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						厚さ t_1, t_2	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	-30			
						延長 L	-200			
6 河川編	5 堰	9 管理橋橋下部工	2		管理橋橋台工	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は図面の寸法表示箇所にて測定。		
						厚さ t	-20			
						天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10			
						天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10			
						敷幅 w_3 (橋軸方向)	-50			
						高さ h_1	-50			
						胸壁の高さ h_2	-30			
						天端長 l_1	-50			
						敷長 l_2	-50			
						胸壁間距離 l	± 30			
						支点長及び 中心線の変化	± 50			

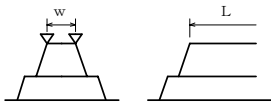
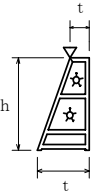
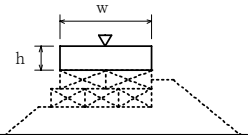
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	6 排水機場	4 機場本体工	6		本体工	基準高 ∇	± 30	図面の表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高さ h_1, h_2	± 30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	4 機場本体工	7		燃料貯油槽工	基準高 ∇	± 30	図面の表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	± 30			
						延 長 L	-50			
6 河川編	6 排水機場	5 沈砂池工	7		コンクリート床版工	基準高 ∇	± 30	図面の表示箇所にて測定。		
						厚 さ t	-20			
						幅 w	-30			
						高 さ h	± 30			
						延 長 L	-50			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	6		本體工 (床固め本體工)	基準高 ∇	± 30	図面に表示してある箇所にて測定。		
						天端幅 w_1, w_3	-30			
						堤幅 w_2	-30			
						堤長 L_1, L_2	-100			
						水通し幅 l_1, l_2	± 50			
6 河川編	7 床止め・床固め	4 床止め工	8		水叩工	基準高 ∇	± 30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点にて測定。		
						厚 さ t	-30			
						幅 w	-100			
						延 長 L	-100			
6 河川編	7 床止め・床固め	5 床固め工	6		側壁工	基準高 ∇	± 30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		
						天端幅 w_1	-30			
						堤幅 w_2	-30			
						長 さ L	-100			

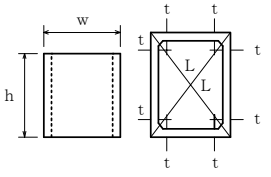
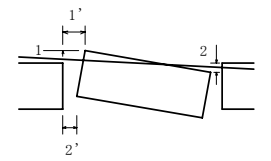
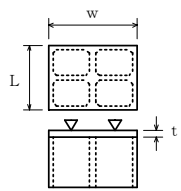
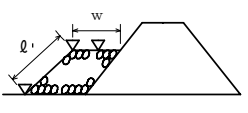
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						幅 w	-30				
						高 さ h	-30				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	± 50	ブロック個数40個につき1箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						ブロック厚 t	-20				
						ブロック縦幅 w_1	-20				
						ブロック横幅 w_2	-20				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法長 l	$l < 5\text{ m}$				-100
							$l \geq 5\text{ m}$				$l \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸工	5		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						法長 l	$l < 3\text{m}$				-50
							$l \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ t	$t < 100$				-20
							$t \geq 100$				-30
						裏込材厚 t'	-50				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						幅 w	-50				
						厚 さ t	-10				
						基礎厚 t'	-45				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	基 準 高 ∇	± 50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						幅 w_1, w_2	-30				
						高さ $h < 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-50				
						高さ $h \geq 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-100				
						延 長 L	-200				

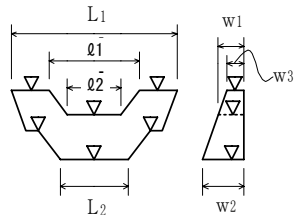
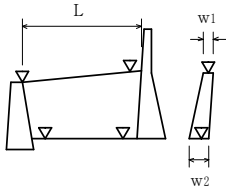
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基礎 工	4		捨石工	基 準 高 ▽	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5点 以上測定。			
							表 面 均 し	±100				
							荒 均 し	異形ブロック据付面 (乱積)の 高さ				±500
								異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高さ				±300
						被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積)の 高さ	±500				
							異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高さ	±300				
						法 長 l	-100	幅は施工延長20m（測点間隔25mの場合 は25m）につき1箇所、延長20m（又は 25m）以下のものは1施工箇所につき2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法 肩。				
						天 端 幅 w_1	-100					
天 端 延 長 L_1	-200											
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基礎 工	5		吸出し防止工	幅 w	-300	施工延長20m（測点間隔25mの場合 は25m）につき1箇所、延長20m（又は 25m）以下のものは1施工箇所につき2 箇所。				
						延 長 L	-500					
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本体 工	2		捨石工	基 準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5点 以上測定。			
							異形ブロック据付面 (乱積)以 外の高 さ	±300				
						法 長 l	-100	幅は施工延長20m（測点間隔25mの場合 は25m）につき1箇所、延長20m（又は 25m）以下のものは1施工箇所につき2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法 肩。				
						天 端 幅 w_1	-100					
						天 端 延 長 L_1	-200					

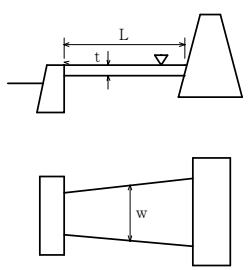
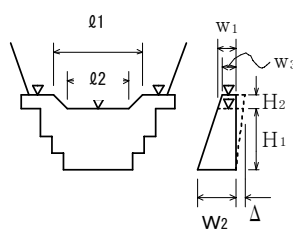
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	5		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ▽	(層積)ブ ロック 規格26t未 満	±300	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25 m）につき1箇所、延長20m（又は25 m）以下のものは1施工箇所につき2箇 所。延長は、センターラインで行う。		
							(層積)ブ ロック 規格26t以 上	±500			
							(乱 積)	±ブロックの高さ の1/2			
						天 端 幅 w	-ブロックの高さ の1/2				
						天 端 延 長 L	-ブロックの高さ の1/2				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	9		石砕工	基 準 高 ▽	±50	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25 m）につき1箇所、延長20m（又は25 m）以下のものは1施工箇所につき2箇 所。			
厚 さ t						-50					
高 さ h						h < 3 m	-50				
						h ≥ 3 m	-100				
延 長 L						-200	1 施工箇所毎				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	10		場所打コンクリート工	基 準 高 ▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25 m）につき1箇所、延長20m（又は25 m）以下のものは1施工箇所につき2箇 所。			
幅 w						-30					
高 さ h						-30					
延 長 L						-200					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	パラストの基準高▽	砕石、砂	±100	各室中央部 1箇所		
							コンクリート	±50			
						壁 厚 t ₁	±10	底版完成時、各壁 1箇所			
						幅 w	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端			
						高 さ h ₁	+30, -10	完成時、四隅			
						長 さ L	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は両端			
						底版厚さ t ₂	+30, -10	底版完成時、各室中央部 1箇所			
						フーチング高さ h ₂	+30, -10	底版完成時、四隅			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量2000 t未満 ±100	据付完了後、両端 2箇所			
							ケーソン重量2000 t以上 ±150				
						据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量2000 t未満 100以下	据付完了後、天端 2箇所			
							ケーソン重量2000 t以上 200以下				
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	11	3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準高▽	陸 上	±30	1室につき 1箇所 (中心)		
							水 中	±50			
						厚 さ t	±30				
						幅 w	±30				
						長 さ L	±30				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t	±10	型枠取外し後全数		
						幅 w	+20, -10			
						高 さ h	+20, -10			
						長 さ L	+20, -10			
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1'、2'	±50	据付後ブロック1個に2箇所(各段毎)		
						隣接ブロックと の間隔 1'、2'	50以下			
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	5 突堤本 体工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準高▽ 陸 上	±30	1室につき1箇所(中心)		
						水 中	±50			
						厚 さ t	±30			
						幅 w	±30			
						長 さ L	±30			
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	6 根固め 工	2		捨石工	基準高▽ 異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5点 以上測定。		
						異形ブロック据付面 (乱積)以外の高 さ	±300			
						法 長 ℓ	-100	幅は施工延長20m(測点間隔25mの場 合は25m)につき1箇所、延長20m(又 は25m)以下のものは1施工箇所につ き2箇所、延長はセンターライン及び 表裏法肩。		
						天 端 幅 w	-100			
						天 端 延 長 L	-200			

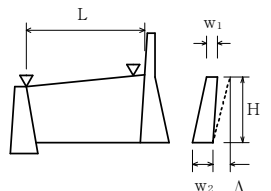
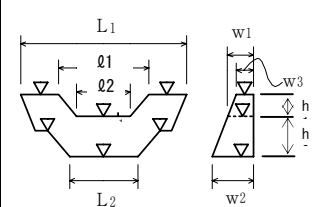
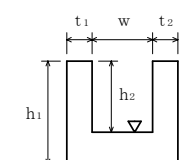
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	基準高▽	層 積	±300	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							乱 積	± t / 2				
						厚 さ t		-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。			
						幅 w ₁ w ₂	層 積	-20				
							乱 積	- t / 2				
						延長 L ₁ L ₂	層 積	-200	1 施工箇所毎			
乱 積	- t / 2											
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	基準高▽	層 積	±300	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所。延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
							乱 積	± t / 2				
						厚 さ t		-20	幅、厚さは40個につき1箇所測定。			
						幅 w ₁ , w ₂		-20				
延長 L ₁ , L ₂		-200										
7 河川 海岸 編	3 海城堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）	3 海城堤基礎工	3		捨石工	基準高▽	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。			
							荒均し	異形ブロック付面(乱積)の高さ				±500
								異形ブロック付面(乱積)以外の高さ				±300
							被覆均し	異形ブロック付面(乱積)の高さ				±500
						異形ブロック付面(乱積)以外の高さ		±300				
						法 長 l		-100	幅は施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所、延長はセンターライン及び表裏法層。			
						天 端 幅 w ₁		-100				
						天 端 延 長 L ₁		-200				

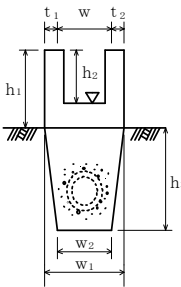
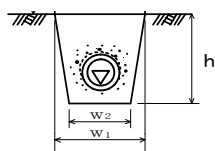
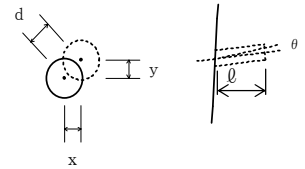
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 材	部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	基 準 高 ∇ (天端高)	± 30	1. 図面の表示箇所にて測定。 2. 1-8-5 コンクリート副堤工にも適用する。		
						基 準 高 ∇ (底面高)	$+0$			
						天端部 w_1, w_3 堤 幅 w_2	-30			
						水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2	± 50			
						堤 長 L_1, L_2	-100			
						勾 配 (裏表とも)	± 0.5 分			
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	基 準 高 ∇	± 30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。 4. 1-9-7 コンクリート側壁工、2-5-6 側壁工も摘要する。		
						幅 w_1, w_2	-30			
						長 さ L	-100			
						勾 配	± 0.5 分			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	8 コンクリート堰堤工	8		水叩工	基準高 ∇	± 30	1. 基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 2. 厚さは目地及びその中間点で測定。 3. 1-9-9水叩工、2-5-7水叩工にも適用する。			
						幅 w	-100				
						厚 さ t	-30				
						延 長 L	-100				
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鋼製堰堤工	5	1	鋼製堰堤本体工 (不透過型)	部 材	長 さ	± 3	1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. 部材は、ボルト接合により施工されるため、現地にて検査する。なお、単位は、mmである。 3. ダブルウォール構造の場合は、水通し部の堤高、幅、袖高及び袖部の袖高、堤幅は+の規格値は適用しない。		
							孔 間 距 離	± 3			
						水通し部 (枠構造) ダブ	堤 高 ∇	± 50			
							長 さ l_1, l_2	± 100			
							幅 w_1, w_2	± 50			
							下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_1$			
						水通し部 (セル構造)	堤 高 ∇	-50			
							長 さ l_1, l_2	-3%			
							幅 w_1, w_2	-3%			
							下流側倒れ Δ	-			
						袖部 (枠構造) ダ	袖 高 ∇	± 50			
							幅 w_2, w_3	± 50			
							下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_2$			
						袖部 (セル構造)	袖 高 ∇	-50			
							幅 w_2, w_3	直径の-3%			
							下流側倒れ Δ	-			

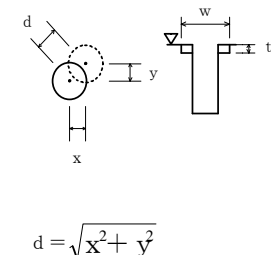
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂防 編	1 砂防 堰堤	9 鋼製 堰堤工	5	2	鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤 長 L	±50	(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリット堰堤A型 B：鋼製スリット堰堤B型 L：L型スリット堰堤 I：I型スリット堰堤 T：鋼製スリット堰堤T C B B O：C B B O型砂防 J：Jスリット堰堤 N：N型流木補足工 D：Dスリット Δ：Δ型スリット h：h型流木補足工		扶壁（バットレス）等の出来形管理は、コンクリート堰堤を参考とする。 セル構造は、鋼製堰堤本体工（不透過型）を参考とする。
						堤 長 ℓ	±10			
						堤 幅 W	±30			
						堤 幅 w	±10			
						高 さ H	±10			
						高 さ h	±10			

詳細は、参考資料のとおり。

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
8 砂防編	1 砂防堰堤	9 鉄製堰堤工	6		鋼製側壁工	堤 高 ∇	± 50	1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。			
						長 さ L	± 100				
						幅 w_1, w_2	± 50				
						下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H$				
						高さ h	$h < 3\text{ m}$				-50
							$h \geq 3\text{ m}$				-100
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	4		床固め本體工	基 準 高 ∇ (天端高)	± 30	1. 図面の表示箇所にて測定。 2. 2-5-5垂直壁工にも適用する。			
						高 さ h_1, h_2	± 30				
						天端部 堤 幅 w_1, w_3, w_2	-30				
						水通しの幅 l_1, l_2	± 50				
						堤 長 L_1, L_2	-100				
8 砂防編	2 流路	5 床固め工	8		魚道工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお、製品使用の場合、製品寸法については、規格証明書等による。）			
						幅 w	-30				
						高 さ h_1, h_2	-30				
						厚 さ t_1, t_2	-20				
						延 長 L	-200				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂防編	3 斜面对策	6 山腹水路工	4		山腹明暗渠工	基準高▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお、製品使用の場合、製品寸法については、規格証明書等による。）		
						厚さ t ₁ , t ₂	-20			
						幅 w	-30			
						幅 w ₁ , w ₂	-50			
						高さ h ₁ , h ₂	-30			
						深 さ h ₃	-30			
						延 長 L	-200			
8 砂防編	3 斜面对策	6 山腹水路工	5		山腹明暗渠工	基準高▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお、製品使用の場合、製品寸法については、規格証明書等による。）		
						幅 w ₁ , w ₂	-50			
						深 さ h	-30			
						延 長 L	-200			
8 砂防編	3 斜面对策	7 地下水排除工	4		集排水ボーリング工	削孔深さ ℓ	設計値以上	全数		
						配置誤差 d	100			
						せん孔方向 θ	±2.5度			
								$d = \sqrt{x^2 + y^2}$		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂防編	3 斜面対策	7 地下水排除工	5		集水井工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
						偏 心 量 d	150			
						長 さ L	-100			
						巻 立 て 幅 w	-50			
						巻立て厚さ t	-30			
8 砂防編	3 斜面対策	9 抑止杭工	6		合成杭工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。		
						偏 心 量 d	D/4以内かつ 100以内			

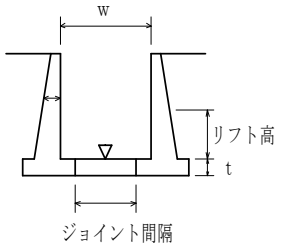
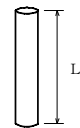
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（越流部堤頂高を含む）は、各ジョイントについて測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて5リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ③ジョイント間隔（横継目）は、5リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、天端中心線延長を測定。 3. ①越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、監督職員の指示による。 ②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性などの測定方法は監督職員の指示による。		
						天 端 幅	±20			
						ジョイント間隔	±30			
						リ フ ト 高	±50			
						堤 幅	-30, +50			
						堤 長	-100			
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高（敷高）、ジョイント間は各ジョイント、各測点の交点部を測定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。 ③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の指示による。		
						ジョイント間隔	±30			
						幅	±40			
						長 さ	-100, +60			

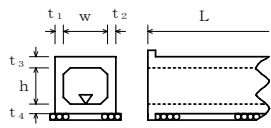
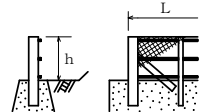
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測定。 ②堤幅、リフト高は、各ジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) 堤幅、リフト高の測定は、上下流面型枠と水平打継目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む) ③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。	 J : ジョイント	
						ジョイント間隔	±30			
						リ フ ト 高	±50			
						堤 幅	-30, +50			
						堤 長	±40			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	1 コン クリ ート ダム	4 ダム コン クリ ート 工			コンクリートダム工 (導流壁)	天 端 高 ▽	±30	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標準とする。 ①天端高、天端幅は、各測点、又はジョイントごとに測定。 ②リフト高、厚さは、各測点、又はジョイントについて3リフトごとに測定。 (注) リフト高、厚さの測定は、前面、背面型枠設置後からとする。 なお、リフト高、厚さの測定箇所は、前面背面型枠と水平打継目の接触部とする。 ③長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。		
						ジョイント間隔	±20			
						リフト高	±50			
						長 さ	±100			
						厚 さ	±20			
								<p>J：ジョイント</p>		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	5		コアの盛立	基 準 高 ▽	設計値以上	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種（タンピング ローラ）の場合		
						外 側 境 界 線	-0, +500			
9 ダム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	6		フィルターの盛立	基 準 高 ▽	-0	各測点について5層毎に測定。		
						外 側 境 界 線	-0, +1000			
						盛 立 幅	-0, +1000			
9 ダム 編	2 フ ィ ル ダ ム	3 盛 立 工	7		ロックの盛立	基 準 高 ▽	-100	各測点について盛立5m毎に測定。		
						外 側 境 界 線	-0, +2000			

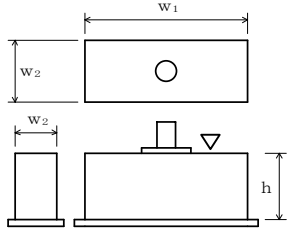
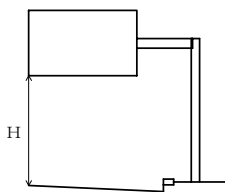
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダム 編	2 フ ム ル ダ ム				フィルダム (洪水吐)	基 準 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所にて測定。 2. 1回/1施工箇所		
						ジョイント間隔	±30			
						厚 さ t	±20			
						幅 w	±40			
						リフト高さ	±20			
						長 さ L	±100			
9 ダム 編	3 基 礎 グ ラ ウ チ ン グ	3 ボ ー リ ン グ 工			ボーリング工	深 度 L	設計値以上	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で行 うカーテングラウトに適用する。		
						配 置 誤 差	100			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路 編	1 道路 改良	3 工場 製作 工	2		遮音壁支柱製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \cdots l \leq 10$ $\pm 4 \cdots l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。		
10 道路 編	1 道路 改良	9 カル バート 工	6		場所打函渠工	基準高 ∇	± 30	両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所にて測定。			
						厚さ $t_1 \sim t_4$	-20				
						幅 (内法) w	-30				
						高 さ h	± 30				
						延長 L	$L < 20\text{m}$				-50
	$L \geq 20\text{m}$	-100									
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	4		落石防止網工	幅 w	-200	施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき 1 箇所、施工延長20m (又は25m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。			
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	5		落石防護柵工	高 さ h	± 30	施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき 1 箇所、施工延長20m (又は25m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。			
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎

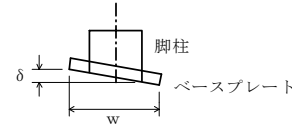
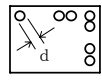
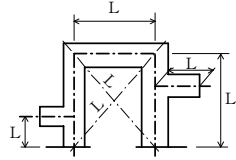
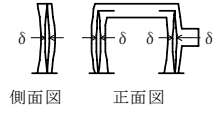
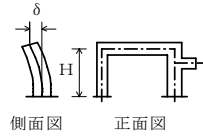
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	6		防雪柵工	高 さ h	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、施工延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30			基礎 1 基毎
							高 さ h	-30			
10 道路 編	1 道路 改良	11 落石 雪害 防止 工	7		雪崩予防柵工	高 さ h	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、施工延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						延 長 L	-200				1 施工箇所毎
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	-30			基礎 1 基毎
							高 さ h	-30			
						アンカー長 ℓ	打 込 み ℓ	-10%			全数
							埋 込 み ℓ	-5%			
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音壁 工	4		遮音壁基礎工	幅 w	-30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、施工延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。			
						高 さ h	-30				
						延 長 L	-200	1 施工箇所毎			
10 道路 編	1 道路 改良	12 遮音壁 工	5		遮音壁本体工	支柱	間隔 w ₁ , w ₂	±15	施工延長 5 スパンにつき 1 箇所		
							ず れ a	10			
							ねじれ b-c	5			
							倒 れ d	$h \times 0.5\%$			
						高 さ h	+30, -20	1 施工箇所毎			
						延 長 L	-200				

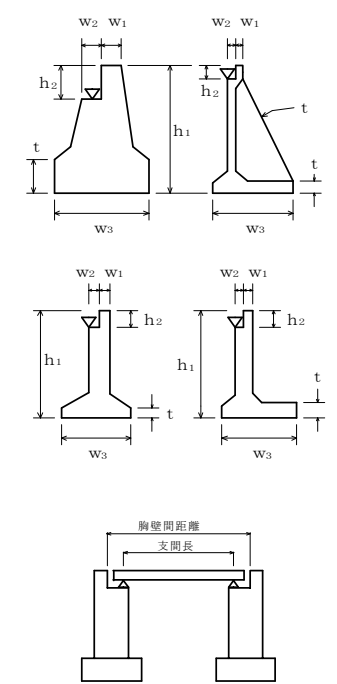
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
							個々の測定値 (X)					10個の測定値の平均(X10)
							中規模以上	小規模以下				中規模以上
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50	—	基準高は20m毎に1箇所割で測定。 厚さは、100m毎に1箇所掘り起こして測定。 幅は、20m毎に1箇所測定。	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。		
						厚 さ	t < 15cm	-30				-10
							t ≥ 15cm	-45				-15
						幅	-100	—				
10 道 路 編	2 舗 装	4 舗 装 工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	-9	-3	幅は、20m毎に1箇所割で測定。厚さは、100m毎に1箇所コアを採取して測定。			
						幅	-25	—				

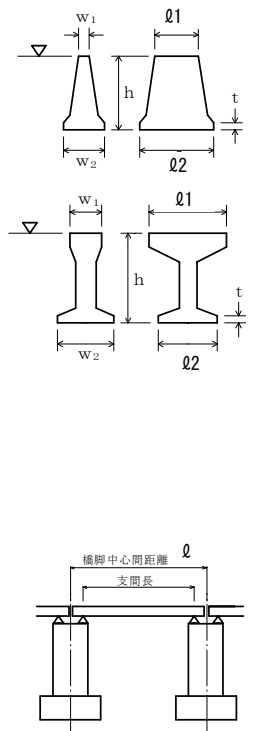
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	2 舗装	5 排水構造物工	9		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ∇	± 30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
						延 長 L	-200			
10 道路編	2 舗装	7 踏掛版工	4		踏掛版工 (コンクリート工)	基 準 高	± 20	1箇所／1踏掛版		
						各 部 の 厚 さ	± 20	1箇所／1踏掛版		
						各 部 の 長 さ	± 30	1箇所／1踏掛版		
					(ラバーシュー)	各 部 の 長 さ	± 20	全数		
						厚 さ	—			
					(アンカーボルト)	中 心 の ず れ	± 20	全数		
						ア ン カ ー 長	± 20	全数		
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	1	大型標識工 (標識基礎工)	幅 w_1, w_2	-30	基礎一基毎		
						高 さ h	-30			
						基 準 高	± 30			
10 道路編	2 舗装	9 標識工	4	2	大型標識工 (標識柱工)	設置高さ H	設計値以上	1箇所／1基		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	1	ケーブル配管工	埋 設 深 t	0~+50	接続部間毎に1箇所	<p>接続部 (地上機器部) 接続部 (地上機器部)</p>	
						延 長 L	-200	接続部間毎で全数		
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	5	2	ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 ∇	± 30	1箇所毎 ※印は、現場打ちのある場合		
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			
10 道 路 編	2 舗 装	12 道 路 付 属 施 設 工	6		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	-30	1箇所／1施工箇所		
						高 さ h	-30			
						基 準 高	± 30			

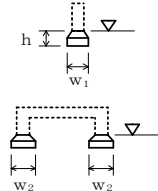
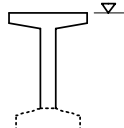
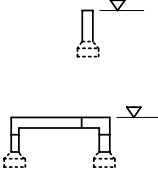
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	3 工 場 製 作 工	3		鋼製橋脚製作工	部 材	脚柱とベースプレートとの鉛直度 δ (mm)	w/500	各脚柱、ベースプレートを測定。		w : 部材幅 (mm)	
							ベ ー ス プ レ ー ト	孔の位置	± 2	全数を測定。		b : 孔中心間距離 (mm)
								孔の径 d	0 ~ 5	全数を測定。		d : 孔の直径 (mm)
						仮 組 立 時	柱の中心間隔、対角長 L (m)	±5... L ≤ 10m ±10... 10 < L ≤ 20m ±(10 + (L - 20)/10)... 20m < L	両端部及び片持ばり部を測定。		L : (m)	
							はりのキャンバー及び柱の曲がり δ (mm)	L/1,000	各主構の各格点を測定。		L : 測線長 (mm)	
							柱の鉛直度 δ (mm)	10... H ≤ 10 H... H > 10	各柱及び片持ばり部を測定。 H : 高さ (m)			

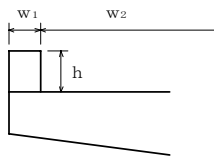
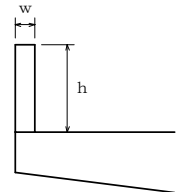
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道 路 編	3 橋 梁 下 部	6 橋 台 工	8		橋台躯体工	基 準 高 ∇	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。			
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-10				
						天 端 幅 w_2 (橋軸方向)	-10				
						敷 幅 w_3 (橋軸方向)	-30				
						高 さ h_1	-50				
						胸壁の高さ h_2	-30				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						胸壁間距離 l	±30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				±20
							ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度				1/50以下

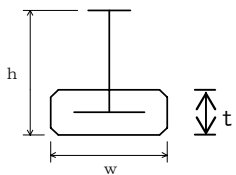
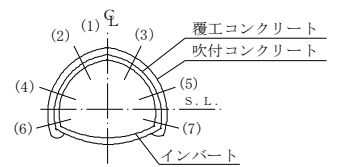
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。			
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w_1 (橋軸方向)	-20				
						敷 幅 w_2 (橋軸方向)	-30				
						高 さ h	-50				
						天 端 長 l_1	-50				
						敷 長 l_2	-50				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計 画 高				+10~-20
							平 面 位 置				± 20
							ア ン カ ー ボ ル ト 孔 の 鉛 直 度				1/50以下

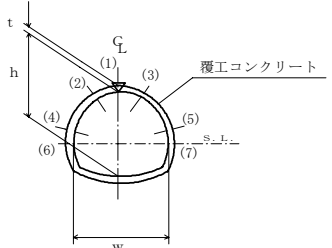
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支 承便覧」による。			
						厚 さ t	-20				
						天 端 幅 w ₁	-20				
						敷 幅 w ₂	-20				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-20				
						橋脚中心間距離 l	± 30				
						支 間 長 及 び 中心線の変位	± 50				
						支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 規 格 値	計画高				+10~-20
							平面位置				± 20
アンカーボルト孔の 鉛直度	1/50以下										
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工 (I型・T型)	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。			
						幅 w (橋軸方向)	-30				
						高 さ h	-50				
						長 さ l	-50				

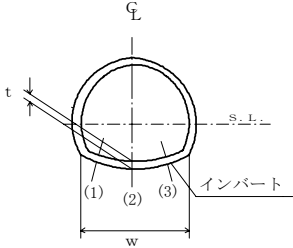
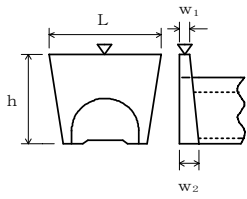
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工 (門型)	基 準 高 ∇	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
						幅 w_1, w_2	-30			
						高 さ h	-50			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ∇	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
						橋脚中心間距離 l	±30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ∇	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、 その他は寸法表示箇所。		
						橋脚中心間距離 l	±30			
						支 間 長 及 び 中心線の変位	±50			
10 道路編	3 橋梁下部	8 鋼製橋脚工	11		現場継手工	現場継手部のすき間 $\delta 1, \delta 2$ (mm)	5 ※±5	主桁、主構の全継手数の1/2を測定。 ※は耐候性鋼材(裸使用)の場合		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路編	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	部材	部材長 l (m)	$\pm 3 \dots\dots$ $l \leq 10$ $\pm 4 \dots\dots$ $l > 10$	図面の寸法表示箇所にて測定。			
10 道路編	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	1	支承工 (鋼製支承)	据付け高さ 注1)		± 5	支承全数を測定。 B：支承中心間隔 (m) 支承の平面寸法が300mm以下の場合は、 水平面の高低差を1mm以下とする。な お、支承を勾配なりに据付ける場合を除 く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定 する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測 し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮 して、移動可能性が道路橋支承便覧の規 格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。			
						可動支承の移動 可能量 注2)		設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)		± 5				$4 + 0.5 \times$ (B-2)
						水下 平沓 度の	橋軸方向	$1 / 100$				
							橋軸直角方向					
						可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差		5				
可動支承の 移動量 注3)		温度変化に伴う移 動量計算値の1/2 以上										
10 道路編	4 鋼橋上部	5 鋼橋架設工	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ 注1)		± 5	支承全数を測定。 上部構造部材下面とゴム支承面との接触 面及びゴム支承と台座モルタルとの接触 面に肌すきが無いことを確認。 支承の平面寸法が300mm以下の場合は、 水平面の高低差を1mm以下とする。な お、支承を勾配なりに据付ける場合を除 く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定 する。 注2) 可動支承の遊間 (La, Lb) を計測 し、支承据付時のオフセット量 δ を考慮 して、移動可能性が道路橋支承便覧の規 格値を満たすことを確認する。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完 了後に実施する。 詳細は、道路橋支承便覧参照。			
						可動支承の移動 可能量 注2)		設計移動量 +10以上				
						支承中心間隔 (橋軸直角方向)		± 5				$4 + 0.5 \times$ (B-2)
						支 平 承 度 の 水	橋軸方向	$1 / 300$				
							橋軸直角方向					
						可動支承の橋軸 方向のずれ 同一支承線上の 相対誤差		5				
可動支承の 移動量 注3)		温度変化に伴う移 動量計算値の1/2 以上										

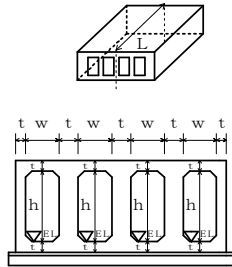
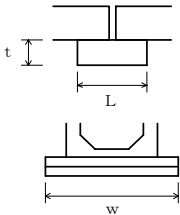
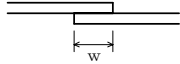
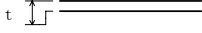
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	3		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	設計値以上	全数測定 全数測定 D：アンカーボルト径 (mm)		
						アンカーボルト定着長	-20以内 かつ -1D以内			
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	5		地覆工	地覆の幅 w_1	-10～+20	1 径間当たり両端と中央部の3箇所測定。 		
						地覆の高さ h	-10～+20			
						有効幅員 w_2	0～+30			
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	6 7		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 w	-5～+10	1 径間当たり両端と中央部の3箇所測定。 		
						高さ h	±10			
10 道路 編	4 鋼 橋 上 部	8 橋 梁 付 属 物 工	8		検査路工	幅	±3	延長20mにつき1箇所		
						高さ	±4			

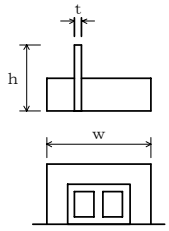
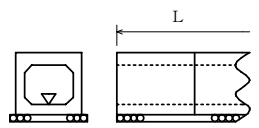
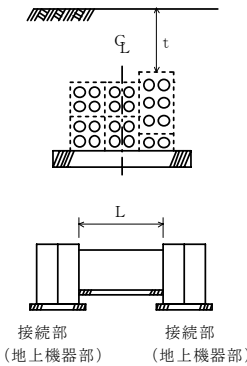
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	5 コンクリート橋上部	6 プレベーム桁橋工	2		プレベーム桁製作工 (現場)	幅 w	± 5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレスング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ℓ：スパン長		
						高 さ h	10 -5			
						桁 長 ℓ スパン長	ℓ < 15…±10 ℓ ≥ 15… ± (ℓ - 5) か つ-30mm以内			
						横方向最大タワミ	0.8 ℓ			
						厚 さ t	+20~-10			
10 道路編	6 トンネル (NATM)	4 支保工	3		吹付工	吹 付 け 厚 さ	設計吹付け厚以上。ただし、良好な岩盤で施工端部、突出部等の特殊な箇所は設計吹付け厚の1/3以上を確保するものとする。	施工延長40m毎に図に示す。 (1)~(7)及び断面変化点の検測孔を測定。 注) 良好な岩盤とは、道路トンネル技術基準 (構造編) にいう地盤等級A又はBに該当する地盤とする。		
10 道路編	6 トンネル (NATM)	4 支保工	4		ロックボルト工	位 置 間 隔	—	施工延長40m毎に断面全本数検測。		
						角 度	—			
						削 孔 深 さ	—			
						孔 径	—			
						突 出 量	プレート下面 から10cm以内			

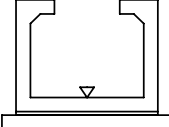
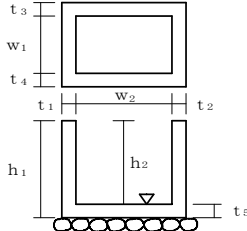
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	3		覆工コンクリート工	基準高▽ (拱頂)	±50	(1) 基準高、幅、高さは、施工40mにつ き1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1 打設長の終点を図に示す各点で測定。中 間部はコンクリート打設口で測定。 (ロ) コンクリート打設後、覆工コンク リートについて1打設長の端面(施工継 手の位置)において、図に示す各点の巻 厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1) は40mに1箇所、(2)～(3)は100mに1 箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のも のについては、1トンネル当たり2箇所 以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、左記の規格 値は適用除外とする。 ・良好な地山における岩又は吹付コンク リートの部分的な突出で、設計覆工厚の 3分の1以下のもの。 なお、変形が収束しているものに限 る。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の 据付け時には安定が確認されかつ別途構 造的に覆工の安全が確認されている場 合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突 出。		
						幅 w (全幅)	-50			
						高さ h (内法)	-50			
						厚 さ t	設計値以上			
						延 長 L	—			
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	5 覆 工	5		床版コンクリート工	幅 w	-50	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50 m)につき1箇所、延長40m (又は50 m) 以下のものは1施工箇所につき2箇 所。		
						厚 さ t	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	6 イン バ ート 工	4		インバート本体工	幅 w (全幅)	-50	(1) 幅は、施工40mにつき1箇所。 (2) 厚さ (イ) コンクリート打設前の巻立空間を1打設長の間と終点を図に示す各点で測定。 (ロ) コンクリート打設後、インバートコンクリートについて1打設長の端面(施工継手の位置)において、図に示す各点の巻厚測定を行う。 (ハ) 検測孔による巻厚の測定は図の(1)は40mに1箇所、(2)～(3)は100mに1箇所の割合で行う。 なお、トンネル延長が100m以下のものについては、1トンネル当たり2箇所以上の検測孔による測定を行う。 ただし、以下の場合には、左記の規格値は適用除外とする。 ・異常土圧による覆工厚不足で、型枠の据付け時には安定が確認されかつ別途構造的に覆工の安全が確認されている場合。 ・鋼アーチ支保工、ロックボルトの突出。			
						厚 さ t	設計値以上				
						延 長 L	—				
10 道路 編	6 トン ネル (N A T M)	8 坑 門 工	4		坑門本体工	基 準 高 ▽	±50	図面の主要寸法表示箇所にて測定。			
						幅 w ₁ , w ₂	-30				
						高 さ h	h < 3 m				-50
							h ≥ 3 m				-100
						延 長 L	-200				

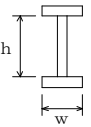
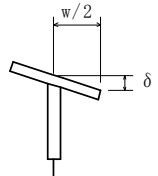
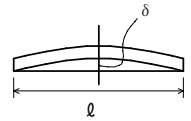
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道 路 編	6 ト ン ネ ル (N A T M)	8 坑 門 工	5		明り巻工	基準高▽ (拱頂)	±50	基準高、幅、高さ、厚さは、施工延長40mにつき1箇所を測定。延長40m以下のものは1施工につき2箇所 なお、厚さについては図に示す各点①～⑩において、厚さの測定を行う。		
						幅 w (全幅)	-50			
						高さ h (内法)	-50			
						厚 さ t	-20			
						延 長 L	—			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	2		現場打躯体工	基 準 高 ∇	±30	両端・施工継手箇所及び図面の寸法表示箇所 で測定。		
						厚 さ t	-20			
						内 空 幅 w	-30			
						内 空 高 h	±30			
						ブロック長 L	-50			
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	4		カラー継手工	厚 さ t	-20	図面の寸法表示箇所 で測定。		
						幅 w	-20			
						長 さ L	-20			
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	1	防水工 (防水)	幅 w	設計値以上	両端・施工継手箇所の底版・側壁・頂版 で測定。		
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	2	防水工 (防水保護工)	厚 さ t	設計値以上	両端・施工継手箇所の「四隅」 で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路 編	11 共同 溝	6 現場 打構 築工	5	3	防水工 (防水壁)	高 さ h	-20	図面の寸法表示箇所 で測定。		
						幅 w	±50			
						厚 さ t	-20			
10 道路 編	11 共同 溝	7 プレ キャスト 構築工	2		プレキャスト躯体工	基 準 高 ▽	±30	施工延長20m（測点間隔25mの場合は25m）につき1箇所、延長20m（又は25m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。ただし、基準高の適用は据付後の段階検査時のみ適用する。 延長：1施工箇所毎		
						延 長 L	-200			
10 道路 編	12 電線 共同 溝	5 電線 共同 溝工	2		管路工（管路部）	埋 設 深 t	0～+50	接続部（地上機器部）間毎に1箇所。 接続部（地上機器部）間毎で全数。 【管路センターで測定】		
						延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
10 道路編	12 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工 (特殊部)	基準高 ▽	±30	接続部 (地上機器部) 間毎に1箇所。		
10 道路編	12 電線共同溝	6 付帯設備工	2		ハンドホール工	基準高 ▽	±30	1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20			
						※幅 w_1, w_2	-30			
						※高さ h_1, h_2	-30			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
							個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X10)			
10 道路 編	14 道路 維持	4 舗 装 工	7		路上再生工	路 盤 工	厚さ t	-30	幅は延長20m（測点間隔が25mの場合は25m）毎に1箇所割で測定。 厚さは、20m毎に1箇所掘り起こして測定。		
							幅 w	-50			
							延長 L	-100			

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準		測 定 箇 所	摘 要
								鋼げた等	トラス・アーチ等		
10 道路編	16 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	フランジ幅 w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	±2… w ≤ 0.5	主げた・主構	各支点及び各支間中央付近を測定。	 I型鋼げた	規格値の w は、w、hおよびb'を代表したものである。
							±3… 0.5 < w ≤ 1.0				
						±4… 1.0 < w ≤ 2.0					
						±(3+w/2)… 2.0 < w					
					フランジの直角度 δ (mm)	w / 200	主げた	各支点及び各支間中央付近を測定。		w : フランジ幅 (mm)	
					圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ / 1000	—	主要部材全数を測定。ℓ : 部材長 (mm)			

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要		
11 下 水 道 編	2 管 渠				管渠（開削工）	基準高	D < 1000mm	±30	基準高（管底高）、中心線の偏位は施工延長20m毎に1箇所		D：管内径 1 スパンを 2 回に分けて施工した場合は 2 布設長とする。 L：1 工事当たり延長計	
							D ≥ 1000mm	±50				
						中心線の偏位 （水平方向）		左右50				
						延長		-L/500かつ-200				延長は各マンホール間を測定
					管渠（現場打ち渠工）	基 準 高	±30	施工延長20m毎に1箇所 1 打設長毎にスパンの中央部及び両端についても測定する。				
						幅	-30					
						厚さ t1, t2, t3	-20					
						高さ t	-30					
						延長 b	-L/500かつ-200					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
					管渠（推進工）	基準高	通常	±50	<p>（推進工 D ≥ 800mm） 1 スパンの推進完了後、基準高（管底高）、中心線の偏位は両端及び20mに1箇所測定する。また掘進中の蛇行状況等は推進管 1 本毎に測定する。</p> <p>（小口径推進工 D < 800mm） 1 スパンの推進完了後、基準高（管底高）、中心線の偏位を両端で測定する。また掘進中の蛇行状況等は推進管 1 本毎に測定する。</p>		<p>※難施工性の扱いは特記仕様書による。</p> <p>D：管内径</p> <p>L：1 工事当たり延長計</p>
				難施工性			±100				
				中心線の偏位（水平方向）		±D/10かつ±100					
				延長		-L/500かつ-200					
					管渠（シールド工） 一次覆工	基準高	仕上げ内径の±5% かつ±100	<p>掘進中のシールド機の蛇行状況は、少なくとも1日1回または5リング毎に測定する。（曲線部は適宜測定間隔を縮める。）</p> <p>裏込め注入が完了しセグメントが安定したのち、基準高（管底高）、中心線の偏位、管径は、施工延長5リングにつき1箇所以上測定する。</p>		L：1 工事当たり延長計	
				中心線の偏位（水平方向）		±100					
				延長		-L/500かつ-200					
					管渠（シールド工） 二次覆工	基準高	±50	<p>基準高（管底高）は、施工延長20mにつき1箇所、中心線の偏位、管径は、40mにつき1箇所測定する。</p> <p>コンクリート巻厚、覆工厚は、1 打設毎に端面で図に示す①から④の各点を測定する。</p>		<p>覆工厚は修正二次覆工計画に対する誤差とする。</p>	
				中心線の偏位（水平方向）		±50					
				管径（内径）		±10					
				コンクリート巻厚		-75					
				覆工厚		-20					

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
					伏せ越し (伏せ越し室)	基準高	±30	主要な寸法表示箇所を測定する。		
				幅 (内法) b1, b2		±30				
				高さ h1, h2		±30				
				壁厚 t1, t2, t3		-20				
					伏せ越し (伏せ越し管)	基準高	管渠工の規格による	管渠工の測定項目、測定基準管理方法による。		
				中心線の偏位 (水平方向)		管渠工の規格による				

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
					雨水吐き室 (室)	基準高	±30	主要な寸法表示箇所を測定する。	基礎条件が良好な場合	
				幅		±30				
				高さ		±30				
				厚さ		-20				
					雨水吐き室 (越流せき)	基準高	±10 せき頂は水平に仕 上げること	主要な寸法表示箇所を測定する。		
				幅		±20				
				高さ		±30				
				長さ		-20				
					マンホール	基準高	±30	マンホールごとに測定する。	基準高はマンホール口輪の天端高とする。 深さはマンホール天端高と下流側管底 高との差とする。	
				幅(長さ)		-20				
				深さ(高さ)		-30				
				厚さ		-20				

【参 考 資 料】

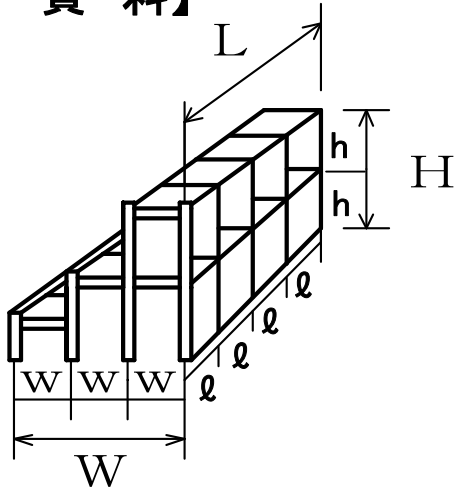


図 a
格子形

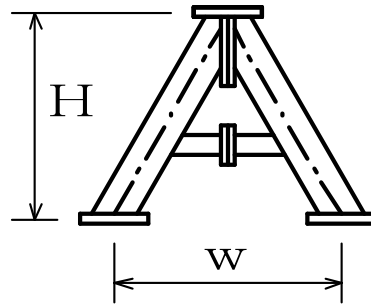


図 b
鋼製スリット
堰堤A型

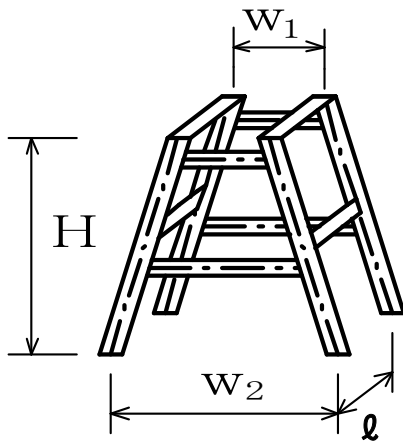


図 c
鋼製スリット
堰堤B型

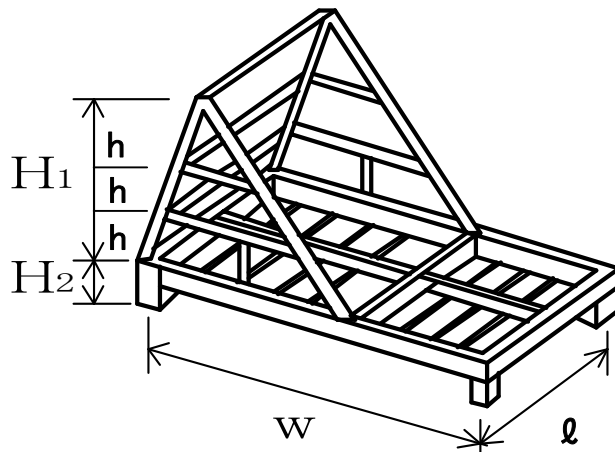


図 d
L型スリット堰堤

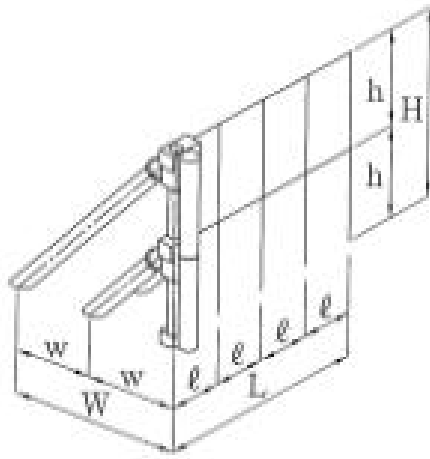


図 e
I型スリット堰堤

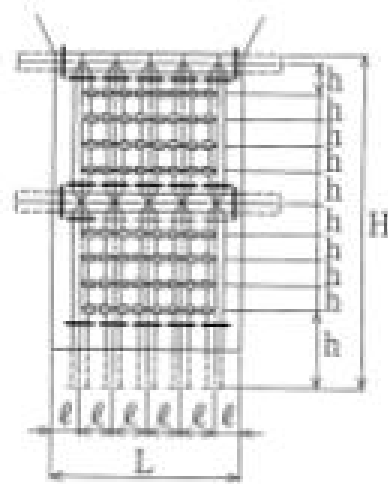


図 f
鋼製スリット
堰堤T型

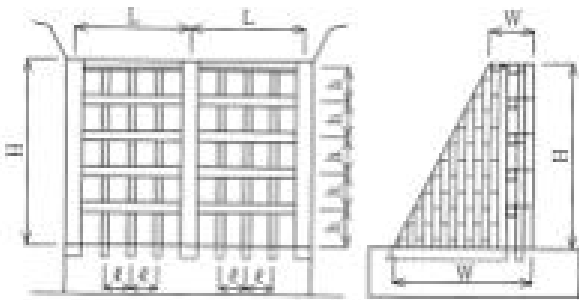


図 g
CBBO型砂防堰堤

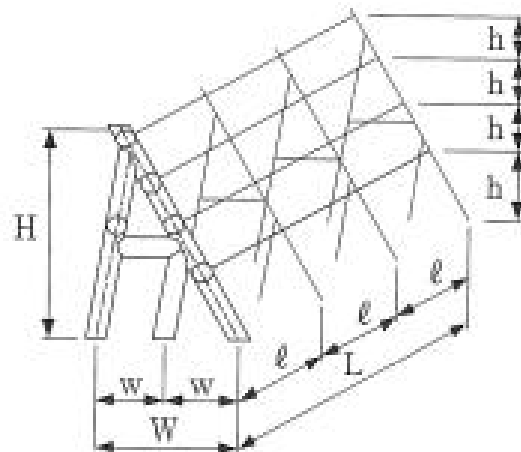


図 h
J-スリット堰堤

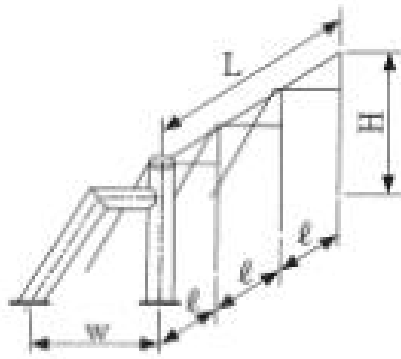


図 i
N型流木補足工

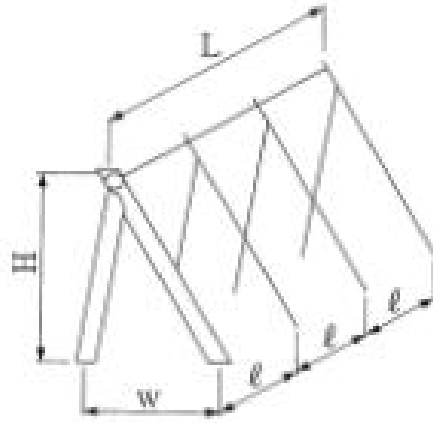


図 j
D-スリット

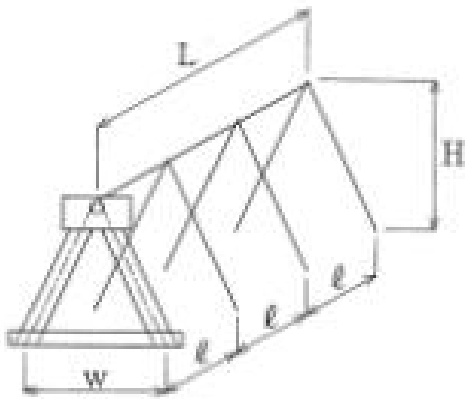


図 k
鋼製△型スリット

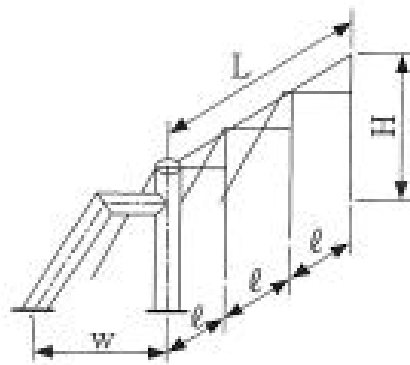


図 l
h型流木補足工